

独立行政法人国際協力機構

ラオス国

公共投資プログラム運営監理強化プロジェクト

**年次報告書
(第2年次)**

2009年8月

アイ・シー・ネット株式会社

技術協力プロジェクト
ラオス国 公共投資プログラムの運営監理能力強化プロジェクト (PCAP2)
年次報告書 (第2年次)

目次

目次	2
略語表	3
年次報告書の概要	4
1. 活動総括と成果達成の見込み	5
1.1 業務の実施概要	5
1.2 業務の実施内容	6
(1) JCC 会議の開催	6
(2) 【成果3】 PIP 運営監理法及び政令・省令の策定支援	7
(3) 【成果1】 技術の習得と定着のための活動 (研修・OJT)	8
(4) 【成果2-1】 PIP 予算管理手法の導入・制度化	20
(5) 【成果2-2】 PIP 財務管理手法の導入・制度化	23
(6) 【成果4-1】 ODA カウンターパートファンドの運営監理	26
(7) 【成果4-2】 郡レベルの PIP 運営監理	29
(8) 【成果4-3】 セクタープログラム運営監理	32
1.3 当初計画との変更点及びその理由	35
1.4 実施上の課題	36
1.5 業務実施人月表	37
2. プロジェクト目標達成の進捗と見込み	39
3. 相手国との会議等	40
4. 業務実施機材品目リスト	40
5. 次年度の重点及び計画実施上の留意点	41
(1) 【成果3】 PIP 運営監理法及び政令・省令の策定支援	41
(2) 【成果1】 技術の習得と定着のための活動 (研修・OJT)	41
(3) 【成果2-1】 PIP 予算管理手法の導入・制度化、【成果2-2】 PIP 財務管理手法の 導入・制度化	41
(4) 【成果4-1】 ODA カウンターパートファンドの運営監理	41
(5) 【成果4-2】 郡レベルの PIP 運営監理	42
(6) 【成果4-3】 セクタープログラム運営監理	42
添付資料 (Appendix)	

略語表

DOF	県財務局 (Provincial) Department of Finance
DPI	県計画投資局 (Provincial) Department for Planning and Investment
GPAR	ガバナンス・公共行政改革 Governance and Public Administration Reform
HRD	人材資源開発
ITT	技術研修
JCC	合同調整委員会 Joint Coordinating Committee
MEM	エネルギー省 Ministry of Energy and Mining
MOF	財務省
MOH	保健省 Ministry of Health
MPI	計画投資省 Ministry of Planning and Investment
NLRP	国家村落開発・貧困削減撲滅委員会 National Leading Board for Rural Development and Poverty Alleviation
NSEDP	国家社会経済開発計画 National-Socio-Economic Development Plan
ODA	政府開発援助 Official Development Assistance
OJT	実地訓練 On the Job Training
PCAP	ラオス国「公共投資プログラム運営監理能力向上プロジェクト」 Project for Capacity Building in PIP Management
PIP	公共投資プログラム Public Investment Program
PO	事業実施責任者 Project Owner
SOP	標準運営手順 Standard Operating Procedure
SPAS	簡易事業審査シート Simplified Project Assessment Sheet
SPES	簡易事業評価シート Simplified Project Evaluation Sheet
SPIS	簡易(ODA)事業情報シート Simplified Project Information Sheet (for ODA Projects)

年次報告書の概要

「ラオス国公共投資プログラム運営監理能力強化プロジェクト」第2年次報告書の概要を以下に示す。

<p>1. 業務の実施方法</p>	<p>すべての活動において、ほぼ順調に当初計画通りに実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 2008年12月に公共投資法が国会審議にかけられたが、承認されなかった。2009年12月に再審議する予定なので、引き続き技術アドバイザー等の支援を続ける。 ➤ 全国研修、OJTは当初目的通り完了し、14県と中央省庁対象に延べ575人が研修を修了した。引き続き研修評価、メタ評価を実施し、本プロジェクトが提案したPIP運営監理手法の研修効果や業務適用度を測定した。 ➤ PIP予算管理では、MPIガイドラインのコンテンツやPIP予算日程に対する提言を行った。 ➤ PIP財務管理では、財務パフォーマンス指標を設定し、県やMPIによる中期的なモニタリングを提案している。 ➤ ODAカウンターパートファンド運営監理では、新たに設置された県DPI国際協力調整課を活用したプロセスを提案し、SPISフォーマットを開発した。 ➤ 郡PIP運営監理では、村・郡レベルの事業要望を反映するために、NLRP経由の「クムバン開発」PIP事業申請ルートを推奨し、同ルートのための申請・審査フォーマットを開発した。 ➤ プログラム運営監理では、フェーズ1で開発した各種ツールの、ウドムサイ、カムムアン、サラワン各県における事例を作成した。フリーソフトGISを使ったPIPマッピング方法も開発した。
<p>2. プロジェクト目標達成の進捗と見込み</p>	<p>各成果に関連する活動は活動計画に従って行われており、研修、手法開発ともに成果が現れている。現段階ではプロジェクト目標に関する指標の達成見込みは、判断が難しい。</p>
<p>3. 相手国との会議等</p>	<p>第2年次には、上述のJCC会議や全国研修以外には正式な会議を実施しなかった。</p>
<p>4. 業務実施機材の譲渡品目リスト</p>	<p>表のとおり。</p>
<p>5. 次年度の重点及び計画実施上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公共投資法承認のための継続支援。 ➤ 第2回全国研修の実施、研修の自立発展性確保と制度化。 ➤ 各種開発手法の研修実施と検証、改善活動。 ➤ ODA、郡PIPの分野における省庁やドナーとの調整。

1. 活動総括と成果達成の見込み

1.1 業務の実施概要

第2年次(2008年10月～2009年8月)に、現地で実施した業務の概要は以下のとおり。

業務実施項目	第2年次活動
【成果3】PIP 運営監理法及び政令・省令の策定支援	3) 法案策定時のアドバイス 5) 法案及び実施細則のフォローアップ
【成果1】技術の習得と定着のための活動の実施	4) 研修計画策定と研修内容の改定 5) 研修講師養成 6) 県・中央省庁への研修実施 7) MPI、県・中央省庁へのOJT実施 8) 研修とPIP 審査・モニタリング・評価結果の評価 9) 研修・OJT 対象組織に対するOJT 評価分析結果のフィードバック 10) 次年度研修計画策定と研修内容の改定 11) 次年度研修講師養成計画 22) 研修制度化へ向けた協議の実施
【成果2】予算・財務管理手法の導入・制度化	
(1) 【成果2-1】PIP 予算管理手法の導入・制度化	2) PIP 予算策定上の現状課題の整理 3) 改善案の作成とマニュアル・ハンドブックへの反映 4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発 5) 研修講師の養成支援
【成果2-2】PIP 財務管理手法の導入・制度化	2) PIP 予算策定上の現状課題の整理 3) 改善案の作成とマニュアル・ハンドブックへの反映 4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発 5) 研修講師の養成支援
【成果4】PIP 運営監理手法の改善	
【成果4-1】ODA カウンターパートファンドの運営監理	1) ODA 援助事業の調査(継続) 2) ODA 援助事業カウンターパートファンド運営監理上の課題整理 3) 改善案の作成とマニュアル・ハンドブックへの反映 4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発 5) 研修講師の養成支援
【成果4-2】郡レベルのPIP 運営監理	1) 郡計画統計事務所の業務内容の調査 2) 郡と県の間での業務分担の検討 3) 郡事務所職員用のハンドブック作成とマニュアル・ハンドブック反映 4) 研修カリキュラム、コンテンツ、研修実施ガイドの開発 5) 研修講師の養成支援
【成果4-3】セクタープログラム運営監理	1) アクションプランのレビュー 2) パイロットセクターのプログラム策定準備 3) パイロットセクターのプログラム策定 4) プログラムマニュアルの改訂 5) 研修カリキュラムとコンテンツの開発 6) 研修講師の養成支援
その他	他ドナーやドナープロジェクトとの連携

※活動番号と成果の順番は、第2年次業務指示書とそれに基づいて変更された作業工程計画に合わせる。

1.2 業務の実施内容

(2) JCC 会議の開催

第2年次は合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）を2回開催した。プロジェクト全体としては、第2回、第3回のJCC会議で、開催内容は、それぞれ以下のとおりである。第3回JCC会議はカウンターパート側の都合で本報告書提出日と重なったため、討議予定項目のみ記述する。

1) 第2回 JCC 会議

日 時	2009年3月10日(火) 1時30分～4時40分
参加者	MPI プンタビ副大臣兼プロジェクト・ディレクター MPI 評価局 ビサイ局長兼プロジェクト・マネージャー MPI 計画局 ウンヘン副局長兼副プロジェクト・マネージャー MPI 国際協力局 ホンパン副局長兼副プロジェクト・マネージャー その他、MPI 側カウンターパート職員 JICA ラオス事務所 武井次長、松元職員 日本大使館 石川専門調査員 その他、プロジェクトスタッフ 計 35 人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2008年度全国研修の実績報告 ➤ PIP 運営監理に関連する新手法の開発進捗状況報告 ➤ マニュアル・ハンドブックのコンテンツ案報告 ➤ ミニバス引き渡し（JICA→MPI）
結 果	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新手法の開発状況やその内容を確認した。それらは、今期中に発行するマニュアル・ハンドブックに反映させる。 ➤ 研修実績に関して、今後さらに研修評価や事業メタ評価を実施する。これら実績や評価の内容を反映させた次期研修計画を立案し、ともに第3回JCC会議の場で報告をする。

2) 第3回 JCC 会議（予定）

日 時	2009年8月31日(月) 8時30分～10時30分
参加者	MPI プンタビ副大臣兼プロジェクト・ディレクター MPI 評価局 ビサイ局長兼プロジェクト・マネージャー MPI 計画局 ウンヘン副局長兼副プロジェクト・マネージャー MPI 国際協力局 ホンパン副局長兼副プロジェクト・マネージャー その他、MPI 側カウンターパート職員 JICA ラオス事務所 高島所長、松元職員 日本大使館 その他、プロジェクトスタッフ 計 37 人（予定）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ マニュアル・ハンドブックの報告 ➤ 次年度研修計画の報告

(3) 【成果3】 PIP 運営監理法及び政令・省令の策定支援

2008年10月から2009年8月までの間に実施した活動項目は、以下のとおりである。

- | |
|---------------------------------------|
| 3) 法案策定時のアドバイス
5) 法案及び実施細則のフォローアップ |
|---------------------------------------|

※番号は作業工程計画に合わせる。

公共投資法は、現在の首相令 58 号を法律へ格上げするものであり、2008 年 12 月の通常国会での承認を目指して法案を策定した。しかしながら、全般的には必要性が高いと認められていたのに、同法の適用範囲が複数省庁にまたがり責任の所在にあいまいな点が多いことや、国会議員に対する事前の説明が不足していたことで、承認に至らなかった。

期間中、本プロジェクト成果を達成するために以下の活動を実施した。

3) 法案策定時のアドバイス

法案策定プロセスで技術アドバイスを行った。同法案の条文には、公共投資プログラム（Public Investment Program : PIP）の運営監理について、計画投資省（Ministry of Planning and Investment : MPI）をはじめとした関連組織がそれぞれ果たすべき役割や、MPI が全国標準となるフォーマットを提供することなどが明記されている。これらの項目は、本プロジェクトの成果と密接に関連することから、法案と本プロジェクト成果との整合性が高いことに留意した。

5) 法案及び実施細則のフォローアップ

本プロジェクトでは今後の承認へ向けてのスケジュールを確認した。MPI は同法の承認後、実施細則として首相令や MPI 大臣令の制定を準備している。特に首相令では PIP 予算策定に関するものが準備されていることから、本プロジェクトとの整合性について継続的に議論していくことを確認した。

(4) 【成果 1】技術の習得と定着のための活動（研修・OJT）

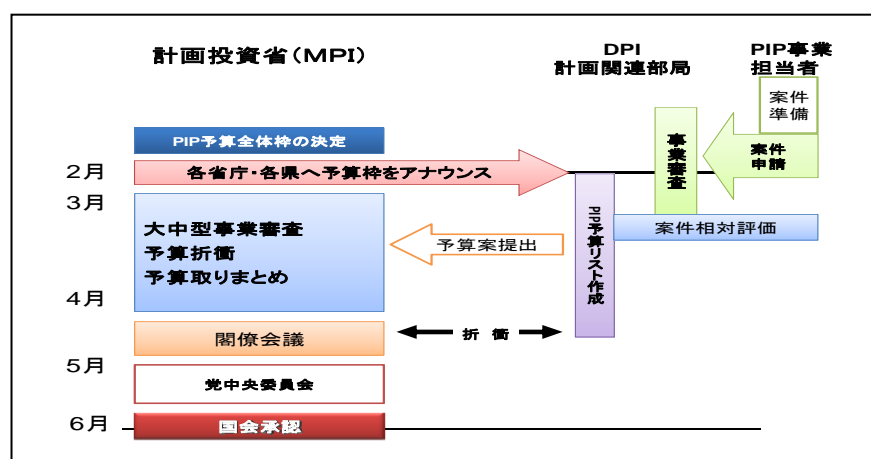
実施した活動項目は、以下のとおりである。

- 4) 研修計画策定と研修内容の改定
- 5) 研修講師養成
- 6) 県・中央省庁への研修実施
- 7) MPI、県・中央省庁への OJT 実施
- 8) 研修と PIP 審査・モニタリング・評価結果の評価
- 9) 研修・OJT 対象組織に対する OJT 評価分析結果のフィードバック
- 10) 次年度研修計画策定と研修内容の改定
- 11) 次年度研修講師養成計画
- 22) 研修制度化へ向けた協議の実施

※番号は、作業工程計画に合わせる。

本プロジェクトでは、「計画投資局（MPI）と県計画投資局（DPI）が本プロジェクトで普及・改善された手法に従って PIP 事業を審査し、ラオス政府が設定する PIP 予算上限の枠内で PIP の全体計画を編成するとともに、それらをモニタリングし評価する。」というプロジェクト目標に従い、関係機関の担当職員がそれぞれに必要な技術の習得と定着を図るための手段として、研修と実地訓練（On-the-Job Training：OJT）を実施している。従っ

図 1 PIP 予算策定フロー



て、本プロジェクトでは図 1 で示した PIP 予算策定フロー¹とスケジュールに最大限に沿う形で研修と OJT を実施している。すなわち、各県・各省庁による年次 PIP 予算書の策定準備時期²に間に合うよう 11 月から翌年 1 月にかけて研修を実施し、研修で習得した技術を実際に年次予算書の策定に活かせるよう 2 月以降に OJT を実施し、研修評価とメタ評価の結

¹図は PIP 予算策定に関する主な手続きのフローとスケジュールを示したものである。ただし、図のとおりすべての手続きが進められるわけではなく、場合によっては図中の手続きの一部が省かれる。

²準備とは、図 1 の PIP 事業担当者による案件準備・案件申請や、各県・各省庁計画投資局による事業審査、関連機関による事業相対評価などを指す。

果を次年度以降のツール開発や研修に反映させる計画だ（図 2 参照）。

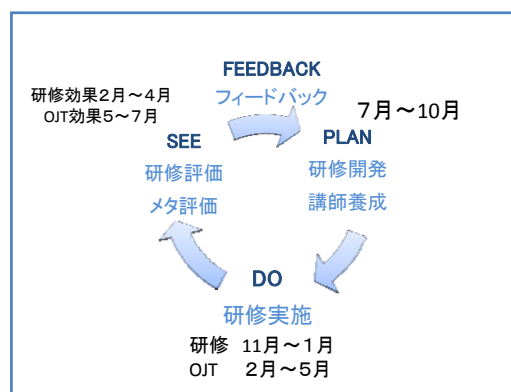
図 2 PIP 予算スケジュールに合わせた研修サイクル

本年度に実施した具体的な活動は以下のとおりである。

4) 研修計画策定と研修内容の改定

5) 研修講師養成

第 2 年次当初の 2008 年 10 月に、MPI 研修実施チームが主体となって 2008 年度全国研修の研修開発と講師養成を完了した（図 2：研修サイクルの「PLAN」に相当）。研修開発の自身としては、第 1 年次から継続的に行ってきた



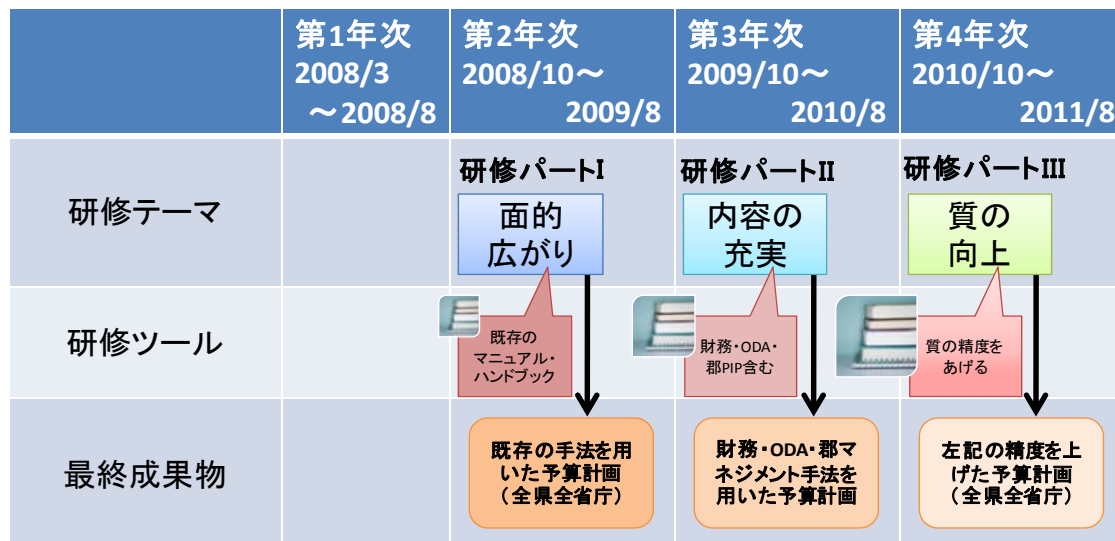
PIP 運営監理ハンドブック（DPI 用と事業実施者用）、事業申請フォーマット、事業審査シートなどの改定を 2 年次研修教材に反映させ、また研修内容やスケジュールなどの最終調整を行った。研修講師養成に関しては、2 年次の研修内容はプロジェクト前フェーズで実施した研修内容と同様であるため、前フェーズで実力をつけた MPI 評価局の講師陣が、同局の若手の職員に対してフォローアップとしての研修講師養成を実施した。

6) 県・中央省庁への研修実施

本プロジェクトでは、関係機関職員が PIP 運営監理に関する必要な知識や技術を段階的継続的に習得できるよう、研修を 3 段階に分けてデザインしている（図 3 参照）。すなわち、本プロジェクト最初の 2008 年度の全国研修では、より多くの関係者が PIP 運営監理に関する基礎的な知識と技術を習得できるよう、「面的広がり」をテーマにこれまでのモニター 3 県から³、全 17 県・全省庁へとターゲットを大きく拡大した。続く 2009 年度の研修では「内容の充実」をテーマに新しい内容や開発手法を取り入れ、本プロジェクト最終の 2010 年度研修では「質の向上」をテーマに、2009 年度研修で取り入れる新しい技術の質の向上を目指すしている。

³ PCAP1 では、ウドムサイ県、カムアン県、サラワン県をモニター県として PIP 運営監理に関する知識と技術の普及を図った。

図 3 研修のフローチャート



PCAP2 として最初の研修である 2 年次は、「面的な広がり」をテーマに（図 3 参照）、2008 年 11 月から 2009 年 1 月にかけて全県・全省庁の PIP 関係部局職員を対象とした全国研修を実施した（図 2 の研修サイクル「DO」に相当）。研修の内容は、1 年次に実施した研修ニーズアセスメントの結果に基づき、PIP 運営監理における基礎的な技術の中でも最も要望の高かった下記の 2 つに的を絞って実施した。

2008 年度全国研修の主な内容

- ① PIP 事業申請書（新規事業申請書及び継続事業申請書）の書き方・申請方法の習得
- ② 簡易事業審査シート（Simplified Project Assessment Sheet：SPAS）を用いた PIP 事業の絶対評価手法と、相対評価手法の習得

2008 年度全国研修の結果概要は次のとおり。

2008 年度全国研修の結果概要

- ① 当初の計画を上回り、14 県の DPI 職員延べ 178 人、郡計画事務所職員 20 人、セクター一部局の職員延べ 318 人の合計 516 人がハンドブックに沿って PIP 事業申請書の書き方と、事業審査・相対評価の方法に関する研修を修了した。
- ② 省庁向け研修では、経済セクター 4 省庁、社会セクター 4 省庁、その他セクター 26 機関の合計 34 機関から、計画局職員、事業実施者の合計 69 人がこの研修を修了した。
- ③ MPI 評価局がロジ面、内容面を含め研修を 1 つのパッケージとして自分たちで運用できるレベルに達した。MPI 評価局の研修講師としての能力の向上がみられる。
- ④ モニター 3 県の DPI 職員合計 6 人が研修コアトレーナーとして研修講師を務められるようになった。

- ⑤ 研修参加者以外に、各県から延べ 129 人の意思決定者（県知事・副知事、DPI 及び各セクター部局の局長・副局長）が、また中央省庁においては 29 機関から、局長・副局長 24 人を含む合計 31 人がセミナーに参加し、PIP 運営監理手法を確認、共有した。

7) MPI、県・中央省庁への OJT 実施

この全国研修の完了後、2009 年 2 月に全 17 県と主要 8 省庁への OJT を実施した。OJT の主な内容は、①2009/10 年度 PIP 予算要求に関する MPI ガイドライン⁴に沿って、各県・各省庁の計画局職員やセクター部局職員と 2009 年度予算要求スケジュールを確認すること、②審査・予算要求取りまとめを実地に指導すること、③計画局や専門部局職員に対する技術研修（Intensive Technical Training：ITT）⁵を行うこと、である。OJT の結果概要は次のとおり。

2008 年度 OJT の結果概要（PIP 予算策定に関わる主なファインディング）⁶

① PIP 予算策定全般に関わる事項

- ◇ 本プロジェクトで開発した事業申請書や審査ツールが全国において「共通言語」となりつつあることは特筆に値する。

② PIP 予算策定スケジュールに関する課題

- 2009 年 2 月 10 日に発令された MPI ガイドラインが、発令前に訪問した県だけでなく発令後に訪問した多くの県においても周知されておらず、結果として、DPI が 2009 年度予算の申請スケジュールを把握できていなかった。
- 全県において、セクター部局から DPI への予算要求スケジュールが県ごとに定められアナウンスされていたが、同スケジュールはほとんど守られていない。

③ PIP 事業申請及び事業審査に関する課題

- 誤った事業申請書を用いて事業を申請するケースがあり、結果として事業審査点を下げかねないケースがあった。
- 事業審査の質が低いケースがあった。
(全 SPAS シートのうち I-4 シートには審査例があるが、全シートにおける審査例の提供を求める声があった。)
- 研修を受けたセクター部局の職員でも、事業審査についての理解が不十分であると計画局から指摘を受けた県があった。
- 研修を受けていない職員は、事業審査について理解できていない。
- 相対評価のやり方について理解が不十分な県があった。

⁴ MPI ガイドライン No.300, 2009 年 2 月 10 日発令。2008 年度 PIP 半期報告と 2009 年度 PIP 予算策定に関するガイドライン。

⁵ 本プロジェクトフェーズ 1 で開発された、経済/財務分析、社会分析、環境分析の 3 分野からなる PIP 運営監理に関するより専門的な内容を網羅した研修。

⁶詳細は、Appendix 1: Summary Report on OJT 参照。

④ ITT の習得度状況

◇ OJT を利用して実施した ITT のうち、経済/財務分析では全 17 県中 14 県、社会分析では 16 県、環境分析では 16 県において受講した職員の 70%以上がテストに合格した。この習得度の高さは評価に値する。

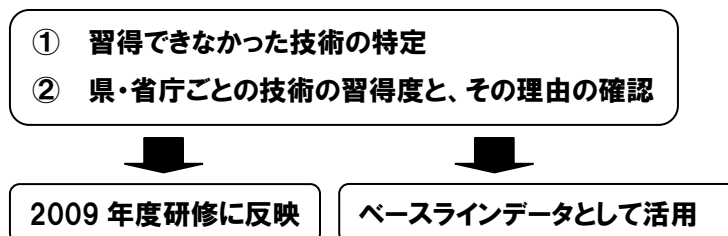
⑤ OJT 実施上の課題

➤ PIP 予算策定フロー/スケジュールのあるべき姿に合わせ OJT を 2 月に実施すると、実際には各セクター局に対する事業申請書の指導になってしまい、計画局に対して審査を実地に指導をすることができない。そのため、次年度は OJT の目的に照らし合わせ実施時期を再考する必要がある。

8) 研修と PIP 審査・モニタリング・評価結果（メタ評価）の評価

この全国研修の有効性を図るため、研修事後評価（6 カ月後評価）とメタ評価を実施した⁷（図 2 の研修サイクル「SEE」に相当）。これは、研修後に行われた実際の 2009/10 年度事業審査の状況を調査することで、習得できた技術を特定し、県・省庁ごとの技術の習得度合いを確認するためだ（図 4 参照）。さらに、調査結果をベースラインとすることで、続く 2009 年度、2010 年度の研修成果との比較も可能になる。

図 4 研修評価・メタ評価の目的



調査結果を総括すると、2008 年度研修のテーマであった「面的広がり」の第一歩を踏み出せたといえよう。なぜなら、調査の結果、質や量の面で程度の差はあるものの、すべての県において本プロジェクトが開発したツールを用いた事業申請と事業審査が実践されたことが明らかになったからだ。

次に、その評価の内容を①PIP 予算要求スケジュール、②申請事業の審査率、③審査の質の評価（メタ評価）に分けて概観する。

① 2009/10 年度 PIP 予算要求スケジュール

2009/10 年度 PIP 予算策定に関する MPI ガイドラインによると、関係機関から MPI への第 1 次予算案の提出期限は 2009 年 3 月 20 日と定められている。各県・各省庁からの実

⁷調査の手法としては、全県・全省庁の研修参加者に対する質問票調査、ビエンチャン都と他 3 県におけるワークショップやキー・インフォーマント・インタビュー、全県・全省庁の計画局職員へのテレホンインタビュー、2009/10 年度第 1 次 PIP 予算案など各種文書の分析などを適宜組み合わせて実施した。

際の予算案の提出日は以下のとおり。

■ 県の予算案提出実績

MPI ガイドラインに沿って期日までに第 1 次予算案を提出した県は全 17 県中、ウドムサイ県はじめ 7 県だった（下表参照）。県では、DPI から MPI への予算案提出の前段階にあたる、セクター局から DPI への予算案提出のスケジュールを別途定めている。早い県で 9 月、遅い県でも 2 月上旬までに DPI への予算案提出期限を各セクター局へ書面で通達していることが確認された。ただし、この通達どおりにセクター局から DPI へ予算案が提出されたのは、ウドムサイ県、ポリカムサイ県、サラワン県、セコン県の 4 県のみだった。

表 1 県別 2009/10 年度 PIP 第 1 次予算案の提出スケジュール実績

日/月

Procedure	Province Date	NORTH								MID				SOUTH				
		PSL	LNT	BK	ODX	XYBL	LPB	XK	HP	VTE Pro.	VTE Cap.	BLKX	KM	SNK	GPS	SLV	SK	ATP
Submission of Project Proposals/ Progress Reports from POs to DPI	Date of announcement	12/11	9/12	30/1	1/10	9/2	1/12	15/12	8/12	4/12	2/2	22/9		15/11	10/12	6/2	29/12	6/2
	Deadline announced by DPI to sectors	15/1	31/1	13/2	6/3	6/3	15/2	30/2	20/3	15/2	20/2	20/2	20/2	26/2	10/1	20/2	25/2	20/2
	Actual date of the last submission	2/2	5/3	25/3	2/2	17/3	5/3	14/3	25/4	16/3	2/3	20/2	25/3	5/3	14/3	20/2	25/2	13/4
Date of Budget Request from DPI to MPI	**Actual date of the submission	25/3	19/3	18/3	20/3	23/3	25/3	19/3	16/3	25/3	15/3	27/3	24/3	25/3	25/3	24/3	25/3	17/3

■ 省庁の予算案提出実績

省庁では、期日までに第 1 次予算案を提出したのは、経済セクターと社会セクターの主要 8 省庁のうちエネルギー省（Ministry of Energy and Mining : MEM）、保健省（Ministry of Health : MOH）など 3 省庁、その他のセクターでは調査を行った 6 機関中 4 機関だった（下表参照）。

表 2 省庁別 2009 年度 PIP 第 1 次予算案の提出スケジュール実績

日/月

省庁	経済セクター				社会セクター				その他					
	農林	公共	商工	エネ	教育	保健	文化	労働	環境	郵政	国土	法務	技術	博物
予算案提出日	10/4	12/5	29/4	12/2	30/3	18/3	19/3	27/3	20/3	2/2	20/3	27/3	23/3	20/3

② 2009 年度 PIP 予算要求に係る審査率

次に、県・省庁ごとの 2009 年度 PIP 予算要求における事業審査の割合を調査した⁸。そ

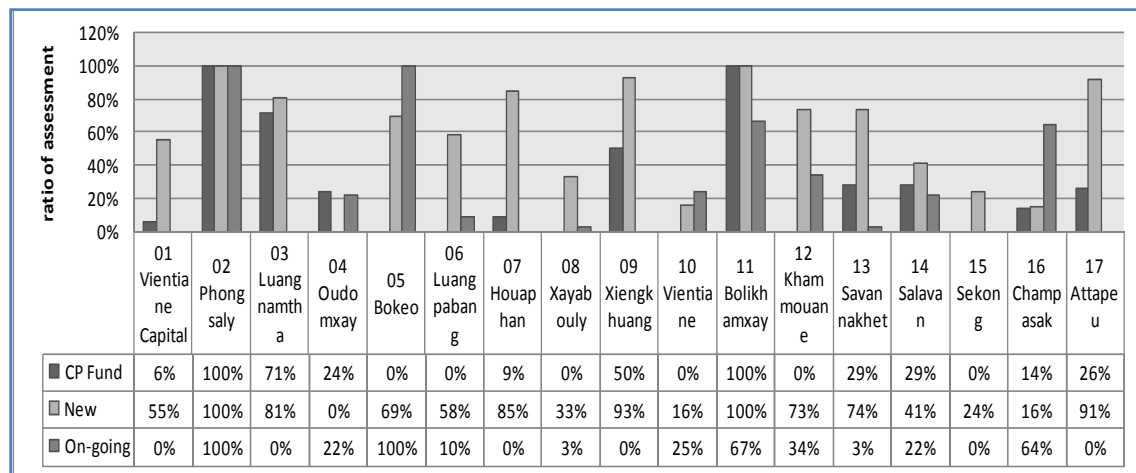
⁸ 調査の方法として、各県 DPI から MPI へ提出された第 1 次予算案にリストされた小規模事業合計数を母数とし、それを SPAS で審査された事業数で割って審査率を算出した。県ごとの事業申請数と申請金額

の結果は以下のとおり。

■ 県の事業審査の割合

すべての県において SPAS を用いた事業審査が実践されたことが明らかになった。これは、「面的広がり」をテーマとして全県・全省庁を対象に実施した研修の成果によるところが大きいといえよう。事業タイプ別に審査の状況を概観すると、新規事業の審査率が高く、継続事業、カウンターパートファンドの審査率が低い。新規事業に限ると、審査率が 50% を超える県は 11 県にのぼる。なかでもポンサリー県、ボリカムサイ県の審査率は事業のタイプを問わず突出しており評価に値する。反対に、新規事業の審査率が 50% を下回った県として、ウドムサイ県、サヤブリー県、ビエンチャン県、サラワン県、セコン県、チャンパサック県が挙げられる。ただし、そのうちウドムサイ県、サラワン県、セコン県に限っていえば、セクター局から DPI へ申請された事業のうちかなりの事業数を DPI が審査したにもかかわらず、最終的に県当局の判断により審査が行われていない新規事業が予算案に追加され申請されたため結果的に審査率が下がったのであり、審査自体が全く行われなかったわけではない⁹。

図 5 (県別) 2009 年度 PIP 予算要求における事業タイプ別事業審査の割合¹⁰



今後の主な課題は以下のとおり。

- ポンサリー県、ボリカムサイ県の審査率の高さの要因（グッドプラクティス）を探る。

は、Appendix 2: Table of Type 3 Projects 参照

⁹ 例えば、ウドムサイ県 DPI は、セクター局から申請された新規事業と継続事業の合計 240 事業のうち 165 事業を審査した (Appendix 3: OJT Follow-up Report 参照)。240 事業のうち実際に MPI に申請されたのは 47 事業であり、その 6 事業が新規事業だった。ところがこの 6 事業はいずれも審査を受けていないもしくは審査待ちの事業だったため、結果的に同県の新規事業の審査率は 0% となった。サラワン県、セコン県については Appendix 4: Report on Meta-Evaluation and Training Evaluation 参照。

¹⁰ 小規模事業 (Type3 事業) のみ。CP Fund=カウンターパートファンド (ODA national contribution budget と同訳される)、New=新規事業、On-going=継続事業を指す。CP Fund には新規事業と継続事業が含まれる。

- サヤブリー県やビエンチャン県など極端に審査率の低い県の要因を探るとともに、次年度研修では同県への研修に特に力を入れる。
- ウドムサイ県やサラワン県、セコン県など、セクター局から DPI へ申請された段階では事業審査を実施していたにもかかわらず、県当局の判断により審査が行われていない事業が予算案に追加され申請されるケースについてどう対応するか。
- 継続事業の審査については「審査されるべきもの」というマインドが共有されていないこともあり、申請書フォーマットや申請書に記載されるべき情報などを含め、今後対応方法を再度検討する必要がある。
- 県レベルよりもキャパシティ不足が深刻な郡の計画事務所職員、専門部局職員への PIP 運営監理手法の技術移転を、長期的な視野でいかに行っていけるか（郡から県へ事業申請が行われるため郡のキャパシティの向上は必須だが、郡職員への直接的な技術移転は本プロジェクトのスコープ外であるため）。

■ 省庁の事業審査の割合

省庁では SPAS を用いた審査が県と比べると浸透していない。各省庁計画局への電話インタビューの結果によると、2009 年度予算要求において SPAS を用いた審査を行ったと回答した省庁は、農林省、商工業省など 14 機関、審査を行わなかったと回答した機関は 18 機関だった（下表参照）。MPI の下部機関である DPI の審査への取り組み状況と比較して、MPI と同格である省庁への強制力や影響力には限界があるといえよう。研修自体も県に対しては県ごとに巡回して実施したが、省庁に対しては全省庁を対象に一斉研修を行ったため、1 省庁あたりの参加人数が限られていたことなども事業審査が実践されなかった一つの要因であると考えられる。主な課題は以下のとおり。

- MPI からの強制力が及びにくい省庁への PIP マネジメントツールを導入する。
- 研修のあり方を含め、省庁への導入・普及戦略と手段を再考することが必要である。

表 3 2009 年度 PIP 予算要求における省庁別事業審査状況

セクター	審査した		審査しなかった	
	経済	1	農林省	1
2		商工業省	2	エネルギー省
社会	3	情報文化省	3	教育省
			4	保健省
			5	労働福祉省
他	4	計画投資省	6	財務省
	5	内務省	7	法務省
	6	National Front	8	防衛省
	7	女性同盟	9	外務省
	8	青年同盟	10	商取引委員会
	9	検察	11	技術庁
	10	最高裁判所	12	水源・環境庁
	11	退役軍人会	13	国会
	12	村落開発委員会	14	大統領府
	13	首相府	15	党中央委員会(官房)
	14	公務員人材育成委	16	党中央委員会(人事)
			17	党統制委員会
			18	国家統制委員会
	合計:14組織			合計:18組織

③ 審査の質の評価 (メタ評価)

こうした PIP 予算策定スケジュール調査と審査率の調査に加えて、実際に行われた個別事業の審査の質を評価 (メタ評価) した。メタ評価では具体的に、事業審査のクライテリアである評価 5 項目 (妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性) に沿って、それぞれの項目ごとに審査の質を評価した。当初は県と省庁の審査結果をメタ評価する予定だったが、省庁では SPAS を用いた審査結果をほとんど入手できなかったことから、県による事業審査のメタ評価のみとなった。地域的なバランス、モニター県であるか否かなどを考慮して下記の 5 県でメタ評価を実施した結果、全 37 事業のうち 31 事業 (全体の約 84%) の審査の質が A (=非常に良い) か B (=良い) であり、審査の質自体は比較的良好であるといえよう。

表 4 5 県におけるメタ評価の結果

単位: 件数

	A	B	C	D	合計
ルアンプラバン県	0	1	2	0	3
サヤブリー県	1	0	2	0	3
ビエンチャン都	14	4	0	1	19
カムアン県	0	4	1	0	5
セコン県	2	5	0	0	7
合計	17	14	5	1	37

ただし、次のとおり事業審査の質に関する課題もいくつかある。

- 審査者の能力によって審査結果が左右されるため（審査結果のブレ）、審査後に、審査の責任者（上司など）が再度審査結果を確認する必要があるだろう。
- メタ評価自体の実施能力にも個人差があり、メタ評価が機能しないケースがある。

9) 研修・OJT 対象組織に対する OJT 評価分析結果のフィードバック

2009年5月から7月にかけて、研修・OJT 評価やメタ評価のためのワークショップをビエンチャン都、サラワン県、セコン県、カムアン県で実施し、省庁については7月に実施したが、その中で主な評価分析結果を各機関へフィードバックした（図2の研修サイクル「FEEDBACK」に相当）。残りの県については、次年度に実施する全国研修の機会を利用して評価結果を共有する予定である。

10) 次年度研修計画策定と研修内容の改定

2009年度の研修は、「内容の充実」をテーマに、研修内容をこれまでの基礎的なものからさらに充実させ、新しい手法やツールを試験的に導入する計画だ（図3参照）。研修の最終的な成果としては、新しい手法を用いた PIP 予算案が作成されることを期待する。研修の方法論としては、新しく導入予定の内容のうち特に予算計画管理・財務管理（支出実績管理）に関しては内容そのものの特殊性などを考慮し、全国研修から独立させて実施する。こうした点と上述の研修評価・メタ評価の結果を反映させた次年度の研修計画は以下の表5のとおり。

表5 2009年度 PCAP2 研修計画

研修テーマ：「質の充実」～BRUSH UP & UPGRADE～				
	時期	主な対象者	目的	主なコンテンツ
全国研修	2009年11月～ 2010年1月	全県・省庁の 計画局職員、 PIP 事業主	事業申請、審査に用いる新しい手法の導入と既存の手法のブラッシュアップ	・ODA カウンターパートファン ドマネジメント ・セクタープログラム管理 ・郡 PIP 運営監理 ・継続案件の申請・審査手法
財務研修	2009年11月 ～12月	全県・省庁の 計画局職員、 セクター局の 計画課職員	PIP 年次予算案策定、及び財務管理の手法の導入	・予算策定手法の導入 ・財務状況分析手法の導入
OJT	2010年2月 ～3月	主に、全県・省 庁の計画局職 員	上述の内容の 実地指導	・PIP 年次予算策定に係る各 手法の実地指導
期待される研修の最終成果：新しい手法を用いて PIP 事業が申請、審査、モニタリングされ、2010年度 PIP 予算案が策定される				

➤ 研修に関する特筆すべき事項

■ 財務面

本プロジェクトからの積極的な働きかけとカウンターパートとの連携の成果として、2009年度6月国会において本プロジェクトの次年度研修予算が PIP カウンターパートファンドとして承認された。同予算は当初の予定と同額の、合計約 3 億キップ（次年度全国研修費用の約 3 分の 1 相当）であり、全国研修実施のための経費として使われる予定である。本プロジェクトの前フェーズからこれまで MPI 側が研修費用を負担した実績はなく、次年度の研修予算が実際に支出されれば、初めてのケースとなるため引き続き注力していく。

■ 体制面

これまでの MPI 評価局を中心とした研修運営マネジメント体制の継続や強化を図りながらも、後述の自立発展性確保の観点から、次年度はさらに MPI 人事組織局を研修運営マネジメント側に取り入れ、MPI 全体として主体性を持って研修の運営マネジメントを実施していけるよう提案する。

11) 研修講師養成

MPI 評価局、計画局、国際協力局の職員で、上述の研修講師を務める職員に対して各内容についての講師養成研修を、2009年8月下旬から10月にかけて実施する予定である。

22) 研修制度化へ向けた協議の実施

PIP 運営監理手法を普及させるにはどのような研修制度化が適切か、その方向性を見出すため、関係機関と協議を行った¹¹。この協議と並行して MPI 評価局プコン副局長をリーダーとしたサステナビリティ・チームが立ち上がり、本プロジェクトの枠内で、自立発展性の方向性について引き続き話し合いを続けている。

表 6 自立発展性の確保に向けた取り組み

PIP 運営監理能力強化に向けた取り組み		
	PCAP2 での取り組み・実績	MPI の今後の方向性
財務	PCAP2 実施期間中の研修予算の確保 (カウンターパートファンドの確保)	経常予算の確保
技術	MPI 評価局の業務内容に係る技術の アップグレード体制の芽生え	PIP 運営監理に係る技術の定着 と更新体制の確立
組織 制度	MPI 評価局の職責の範囲内での全国 研修実施体制の芽生え	人事組織局を中心とした組織・ 制度としての人材資源開発

¹¹計画投資省評価局局长との協議（2009年4月から8月にかけて継続的に実施）、National Economic Research Institute との協議（2009年5月5日）、計画投資省評価局副局長との協議（2009年6月10日）、MPI 人事組織局との協議（2009年6月10日）を実施した。

表 3 で示したとおり、自立発展性の確保に向けた前フェーズからこれまでの主な実績として、①財務面ではカウンターパートファンドとしての研修予算が正式に承認されたこと、②MPI 評価局の業務内容に関する技術（主に事業審査手法）については、技術を更新していく体制が芽生えていること、③組織・制度面では、MPI 評価局の職責の範囲内で全国研修を実施した実績があること、などが挙げられる。ただし、国民が便益を受ける良好な公共事業を実施していくために必要な PIP 運営監理体制を確立するためには、MPI 評価局だけでなく MPI 組織全体としての自立発展性の確保が求められる。そのため、MPI 自身の将来的な課題として、①財務面で MPI や関係機関の経常予算や他財源を用いて財務的な自立発展性を確保すること、②技術面では、MPI 評価局の職責を越え、計画局や国際協力局などを含めた PIP 運営監理全体に関する技術の定着と更新体制を整えていくこと、そして上記①と②を可能にするために、③組織・制度面で、人事組織局を中心とした組織・制度としての本質的な人材資源開発 (Human Resource Development : HRD) を進めていくこと、などが挙げられる。本プロジェクトでは引き続きサステナビリティ・チームを中心に検討を続ける。

(5) 【成果 2-1】 PIP 予算管理手法の導入・制度化

実施した活動項目は、以下のとおりである。

- | |
|----------------------------|
| 2) PIP 予算策定上の現状課題の整理 |
| 3) 改善案の作成とマニュアル・ハンドブックへの反映 |
| 4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発 |
| 5) 研修講師の養成支援 |

※番号は、作業工程計画に合わせる。

具体的な活動内容は、それぞれ以下のとおりである。

2) PIP 予算策定上の現状課題の整理

第2年次第1回現地調査の際に、県計画投資局（DPI）からMPIに提出されるPIP事業申請の数が多すぎ、事業審査が適切に行われていないことを中心課題としたが、調査団内での調整、MPIとの議論、カムムアン県での現地調査をふまえて再度整理した。課題は、県のセクター部局所属の事業実施責任者（Project Owner：PO）からDPIへ多くのPIP事業申請書が提出されること、事業申請の審査期間が短いことから、事業審査の質が確保されていないことである。結果として、国家経済社会開発計画（National Socio-Economic Development Plan：NSEDP）の実現に効果的でないPIP事業が採択されてしまっている。

これらの課題は、本プロジェクトのフェーズ1を通じて2004年から取り組んでいるものである。フェーズ1では事業審査の手法を確立し、MPIやDPIの職員を対象として人材育成を図ってきた。しかし、事業審査のスキルが向上しても、それだけでは十分でない。各職員が事業審査を確実にこなせるようになるためには、PIP予算策定プロセスそのものを変えていかなければならない。

2009/10年度PIP予算策定プロセスは以下のとおり。問題は、①MPIによるガイドライン発令からMPIへの提出締め切りまでの時間が短いこと、②MPIへの提出期限である3月20日まで、POがDPIに事業申請書を断続的に提出すること、③POが多くの事業申請書を提出すること、である。DPIは、人数も限られていることもあり、フェーズ1で開発したツールを活用したとしても、適切な事業審査を行うことができない。

	MPI	DPI	PO
2/10	①翌年度予算策定プロセスに関するガイドラインを発令		
		②ガイドラインに基づきPOを指導	
			③事業申請書作成・提出
		④個別事業審査実施 ⑤事業間相対評価実施	↓
3/20		⑥ PIP 予算リスト第一次案を MPI に提出	

3) 改善案の作成とマニュアル・ハンドブックへの反映

<改善提案>

これらの課題をふまえて、PIP 予算策定プロセスを合理化することを MPI に提案した。具体的には、①ガイドラインの発令を前倒しすること、②PO から DPI への事業申請期限を明確にすること、③翌年度 PIP 予算の上限額を事前に提示することである。その目的は、DPI が事業審査に必要な時間を確保できるようにすることだ。

	MPI	DPI	PO
12/1	①翌年度予算策定プロセスに関するガイドラインを発令		
12月		②県別中期支出見込み策定	
		③ガイドラインに基づき PO を指導	
1月			④事業申請書作成
2/5			⑤事業申請書提出
		⑥個別事業審査実施	
		⑦事業間相対評価実施	
3/20		⑧PIP 予算リスト第一次案を MPI に提出	

ガイドラインに関しては、毎年 12 月 1 日に発令することを提案する。これは、個別事業の事業審査に 1 カ月、事業間相対評価に 0.5 カ月必要なことをふまえて設定した。ガイドラインには、PO から DPI に事業申請書を提出する期限を明示する。PO が MPI への提出期限（3 月 20 日）まで断続的に提出することを防止するためだ。加えて、翌年度 PIP 予算のうち、新規事業予算の上限をガイドラインに示すことで、PO が過大な新規事業を申請しないことを狙う。

<MPI とのコンセンサス醸成>

こうした提案に関して、政策文書（ポリシーペーパー）を作成した。6 月 10 日には、計画局のスタッフ（係長、一般スタッフ）を対象としたワークショップを開催し、意見交換を行った。ワークショップでは、提案に関する合意が形成され、MPI のマネジメント層への働きかけをすべきという結論になった。主な意見と答えは以下のとおり。

- ・ 財務省と翌年度予算額に関する交渉を終わることなく、ガイドラインを発令することは難しい。→12 月に発令するガイドラインは、県別予算額を示すものではなく、予算編成プロセスを明示するもの。仮に予算額を示さなくてはいけない場合は、GDP 成長率やインフレ率の見込みからシミュレーションはできる。
- ・ ガイドラインの内容を改善しても、県への強制力がない。→強制力の問題は認識している。DPI も PO への強制力がないことを課題としている。しかし、強制力が弱くても、

MPIは適切な内容のガイドラインを発令しなければいけない。DPIはMPIからの指令を必要としている。

ワークショップの結果は、評価局のビサイ局長と計画局のウンヘン副局長に報告された。8月には本プロジェクトのプロジェクト・ディレクターであるMPIブンタビ副大臣に提案され、JCC会議開催の前に、MPIの上層部で内部調整することの必要性が確認された。

<マニュアル案の作成>

この提案をもとに、マニュアルドラフトの作成を行っている。

4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発

PIP予算管理手法に関する研修は、予算策定プロセスに関するガイドラインの方針や、予算策定スケジュールの説明が主となる。ワークショップ向けなどで作成した資料を活用していく。

5) 研修講師の養成支援

今回は、カウンターパートである計画局の職員2人と課題の確認、提案の精査を行った。PIP予算管理手法に関する研修は、技術移転を目的とするのではなく、予算策定プロセスに関するガイドラインの方針や、予算策定スケジュールの説明が主な内容となる。研修講師養成もこの方針をふまえて行う予定。

(6) 【成果 2-2】 PIP 財務管理手法の導入・制度化

実施した活動項目は、以下のとおりである。

- 2) PIP 予算策定上の現状課題の整理
- 3) 改善案の作成のマニュアル・ハンドブックへの反映
- 4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発
- 5) 研修講師の養成支援

※番号は作業工程計画に合わせる。

具体的な活動内容は、それぞれ以下のとおりである。

2) PIP 策定上の現状課題の整理

複数県への地方出張を通じて、財務管理上の問題点の整理を行った。抽出された課題は主に以下のとおりである。

- ・ PIP 事業に対して割り当てられる年度予算が少なく、支払期間が工事期間よりも長く設定されるため、追加コストが発生して事業コスト全体が増加する。
- ・ PIP 事業に対して割り当てられる年度予算が少ないため、工事の完了が遅れることがある。
- ・ 支払いの遅延のため、PO が工事業者の監督を徹底できなくなったり、工事が中断されたりして、工事の質が低下する。

一般的には、支払いの遅れが最も重要な問題と考えられており、MPI と県 DPI もこの点について強い問題意識を持っている。支払いの遅れは、いわゆる債務事業に焦点が当てられるが、継続事業や新規事業も同様に問題を抱える。そのため、債務だけではなく、全般的に支払いの遅れを解消していくことが必要である。

支払いの遅れについては、DPI と県財務局 (Department of Finance : DOF) 間での情報のやり取りや、手続きの停滞などが懸念されていたが、①DPI と DOF 間では支出予測や支出実績などの情報が頻繁に交換されていること、②特定の県では DOF の持っていた国庫機能が財務省 (Ministry of Finance : MOF) に移管されており、現金不足による支払いの遅れが解消しつつあること、③現金不足は予算年度開始後の 10~12 月に発生する季節的な問題であること、などから、特段の懸念はないものと考えられる。

そのため、支払いの遅延問題を解決するためには、より予算編成過程に注力する必要がある。

3) 改善案の作成のマニュアル・ハンドブックへの反映

多数の PIP 事業が承認されるために、事業ごとの割当予算が少なくなり、そのため支払いの遅延が恒常化していることが、財務管理上の主要な課題である。これを解決するため、本プロジェクトは数回にわたり改善案をまとめ、MPI に提出している。

2009年6月までに提出した改善案は、以下のとおりである。

- ・ PIP 財務パフォーマンス指標を導入し、県の財務内容をモニタリングする。
- ・ MPI はガイドラインの通達などにより、県の財務内容が悪化しないようにする。
- ・ MPI と本プロジェクトが県に技術指導を行い、県が自発的に財務健全性を確保できるようにする。

財務パフォーマンス指標の導入

財務パフォーマンス指標としては、「平均償還年数」を使用することを提案している。平均償還年数とは、当該県の事業コスト総額から支払い済み額を引いた「要支払い額」であり、その年度の予算で支払い続けた場合、何年かかるかを示すものである。平均償還年数の計算方法は以下のとおり。

$$\begin{aligned} \text{「平均償還年数」} &= \text{「要支払い額」} \div \text{「年度予算額」} \\ &= (\text{「事業コスト総額」} - \text{「支払い済み額」}) \div \text{「年度予算額」} \end{aligned}$$

平均償還年数を使用して、債務事業だけでなく、県の PIP 事業で全体的にどの程度支払いに時間がかかるかを把握することが可能である。特定の県の経年変化を見ること、県ごとの比較をすることも可能である。MPI には、これを今後モニタリングするとともに、県が償還年数を短縮するための指示・指導を行うよう提案した。償還年数に応じて、県の財務状態を3つの項目に分類することを提案している¹²。

MPIによる全県モニタリング

年度予算額は、インフレ率や税収増により増加することが期待できるため、要支払い額を増加させなければ、平均償還年数は徐々に減少することになる。要支払い額を固定するためには、新規事業のコスト総額の上限を、前年度予算支出額とする必要がる。

本プロジェクトが提案する MPI の役割は、①ガイドラインにより全県に対して新規事業総額の上限額を前年度予算額と同額にするよう通知すること、②要支払い額が増加していないよう予算策定プロセスを通じて県と交渉すること、③全県の償還年数の目標値を設定し中長期的にモニタリングを行うことの3点である。

県による予算策定プロセス

県は、中期見込み (Mid-term Outlook) を使用し、中長期間の新規事業総額と、償還年数推移を予測することを提案している。多額の新規事業を提案すれば、償還年数が増加することが明白であるため、県が自発的に新規事業総額を絞り込むことが期待される。

¹² 償還年数が4年以下であれば「緑」、4年超7年以下であれば「黄」、7年超であれば「赤」としている。

県が自ら中期見込みを作成できるようにするため、MPI と本プロジェクトにより、今後研修を行う必要がある。

このような提案とツールを具体化するため、2009年2月にカムムアン県・ポリカムサイ県、3月にサラワン県・ウドムサイ県を訪問し、それぞれコメントを受けた。2009年5月にはカムムアン県を再度訪問し、ツールの修正を行った。

2009年6月にMPI職員を対象としたワークショップを開催し、本プロジェクトからの提案内容とツール案を説明した。参加者からは、本プロジェクトからの提案に対して非常に前向きなコメントがあり、MPI内の意思決定者に提案してほしいとの依頼を受けた¹³。

この提案をもとに、マニュアルドラフトの作成を行っている。マニュアルの目次案は以下のとおり。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 予算編成過程の全体像2. 予算編成の個別プロセス3. 財務健全化手法<ol style="list-style-type: none">(1) 財務分析手順と分析の視点(2) 予算計画への反映方法4. 意思決定者への提案 |
|---|

4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発

財務管理に関する研修カリキュラムとコンテンツの第一ドラフトを作成した。ドラフトをもとに、MPI計画局職員に対して財務分析手法などを指導した。財務分析や予算への反映方法を指導するため、計算問題などを作成した。今後、MPI計画局職員からのコメントを反映させ、改定を行う予定である。

5) 研修講師の養成支援

研修カリキュラムの第一ドラフトを利用し、MPI計画局職員2人に対して財務分析手法と、予算計画への反映方法の指導を行った。カムムアン県への出張時には、同職員がDPI職員に対して実際に指導を行い、研修講師としての理解の度合いを確認した。

2009年10月から11月に再度MPI向けの研修を開催し、引き続き研修講師の養成支援を行う予定である。

¹³ 添付資料を参照。

(7) 【成果 4-1】 ODA カウンターパートファンドの運営監理

実施した活動項目は、以下のとおりである。

- 1) ODA 援助事業の調査（継続）
- 2) ODA 援助事業カウンターパートファンド運営監理上の課題整理
- 3) 改善案の作成とマニュアル・ハンドブックへの反映
- 4) 研修カリキュラムとコンテンツの開発
- 5) 研修講師の養成支援

※番号は作業工程計画に合わせる。

具体的な活動内容は、それぞれ以下のとおりである。

1) ODA 援助事業の調査

i) MPI の責務確認

2009年3月に ODA 政令¹⁴が発効した。これによれば、MPI の責務は以下のように定められている。

- ① ODA プロジェクト要請書の作成
- ② 円卓会議の調整
- ③ ODA 事業のプロジェクトドキュメント類の作成
- ④ ODA 事業の運営管理に関する研修の関係機関との共同実施
- ⑤ ODA 事業の運営管理、モニタリング・評価、監督、実施促進、情報収集、定期会議類のホスト役
- ⑥ ODA カウンターパートファンド計画の取りまとめ

このうち⑤と⑥の責務は ODA カウンターパートファンド監理に関する情報収集、改善ワークフロー実施、研修実施などを、ODA 政令の執行の一部として定義している。したがって、本プロジェクトでの改善ワークフローの実施は、ODA 政令による法的執行力を持たせることができると考えられる。

ii) MPI 国際協力局の責務確認

さらに、MPI 省内規¹⁵に記載されている国際協力局の責務を確認した。具体的には、①円卓会議の調整、②ODA 事業の合意調整窓口となる、③海外援助報告書の発行、などである。国際協力局は各県 DPI に国際協力調整課を配置し、各県内の ODA 事業の情報収集を行っている。本プロジェクトで取り組む PIP の運営監理に、現在のところは直接かかわってはいない。

iii) ODA 予算プロセスの確認

¹⁴ Prime Minister's Decree on the Management and Usage of the ODA, No. 75/PM ,promulgated March 25, 2009

¹⁵ Agreement on Organization and Activities of Department of International Cooperation, March 11th, 2008 based on the Prime Minister's Decree, No. 374/PM dated 22nd Oct, MPI

これまでのプロジェクトでの調査結果をもとに ODA 事業を含めた PIP 予算策定プロセスフロー試案を作成し、ウドムサイ県とサラワン県のワークショップで確認を行った。これまで、同プロセスを可視化した資料がなかったが、これでプロセス改善の基盤となる、先方とプロセスの認識共有ができた。

iv) ODA カウンターパートファンドプロセスの問題分析

ウドムサイ、サラワン 2 県でのワークショップ、ボリカムサイ、カムムアン 2 県でのグループディスカッションを実施し¹⁶、現在ある問題点について、各県関係者のコンセンサスを得た。さらに、モデルセクターである公共事業・交通セクターでのトップ 3 ドナーへのインタビューを行い、問題点のクロスチェックを行った。現在国際協力局で使用している ODA 事業情報管理システムの分析を行った。これら一連の調査により認識された問題点は以下のとおり。

- ① 毎年の PIP 事業の申請額は予算枠に比べて非常に多い。これは ODA の PIP 事業でも例外ではなく、カウンターパートファンドの優先順位付けもせざるを得ない状況である。
- ② ODA 事業に関する情報が PO により十分に把握されなかったために、カウンターパートファンド申請を逸することがある。
- ③ ODA を含む PIP 事業の総合的な優先順位付け手法が確立されておらず、ODA 事業と国内 PIP 事業の間での論理的な優先順位の検討が行われにくい。
- ④ 国際協力局では、1990 年代に国連開発計画 (United Nations Development Plan : UNDP) らの支援により ACMS¹⁷データ管理システムを投入した。その目的は、a) 海外援助年次報告書 (Foreign Aid Report : FAR) 作成のためのデータ収集、b) MOF と連携した ODA 予算支出の一元管理だが、b)に至るまでにシステムは完成せず、現在は a)の目的にのみ使用しているという。さらに、その入力シートとして、3つのフォーマット¹⁸を昨年から各県 DPI に配布し運用開始したが、機能していない。理由は、c) シートの要求情報が多すぎる、d)シート提出に制度的強制力がない、e) 提出の責任の所在と役割分担が不明確、とのことである。
- ⑤ 5 県での ODA 額トップ 3 ドナーのセクター専門家¹⁹による、カウンターパートファンドに関する問題認識も前項のとおり。さらに、3)については、PO が情報を持たされていないのではなく、内部的な情報共有方法とアクセス意欲の問題と認識している。

v) 他ドナーによる関連プロジェクトの確認

¹⁶ 11月26日と12月16日

¹⁷ Government's Aid Coordination and Monitoring System (ACMS) database

¹⁸ 現状3フォーマット：「PIS: Project Information Sheet」「PIR: Project Implementation Report」「PWP: Project Working Plan」。

¹⁹ アジア開発銀行、スウェーデン開発機構(SIDA),世界銀行の各道路・交通セクタースペシャリストと SIDA 農村道路プロジェクトのコンサルタントチームリーダー

このマニュアルの内容を反映し、3年次から行う研修コンテンツの改定を行った。研修カリキュラムは、これまでのものを基本に、本件 ODA カウンターパートファンド監理の内容を加え、全体の整合性を調整した。

5) 研修講師の養成支援

3年次からの全国研修には、MPI の評価局、計画局、国際協力局からそれぞれ研修講師を派遣することで合意を得ている。研修内容の理解を深めるため、研修カリキュラムとコンテンツの開発で講師候補者との共同作業を行った。3年次の初頭に研修講師養成研修を継続実施する予定。

(8) 【成果 4-2】 郡レベルの PIP 運営監理

実施した作業内容は以下のとおりである。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 郡計画統計事務所の業務内容の調査2) 郡と県間の業務分担の検討3) 郡事務所職員用のハンドブック作成とマニュアル・ハンドブック反映4) 研修カリキュラム、コンテンツ、研修実施ガイドの開発5) 研修講師の養成支援 |
|--|

※番号は作業工程計画に合わせる。

- 1) 郡計画統計事務所の業務内容の調査
- 2) 郡と県間の業務分担の検討

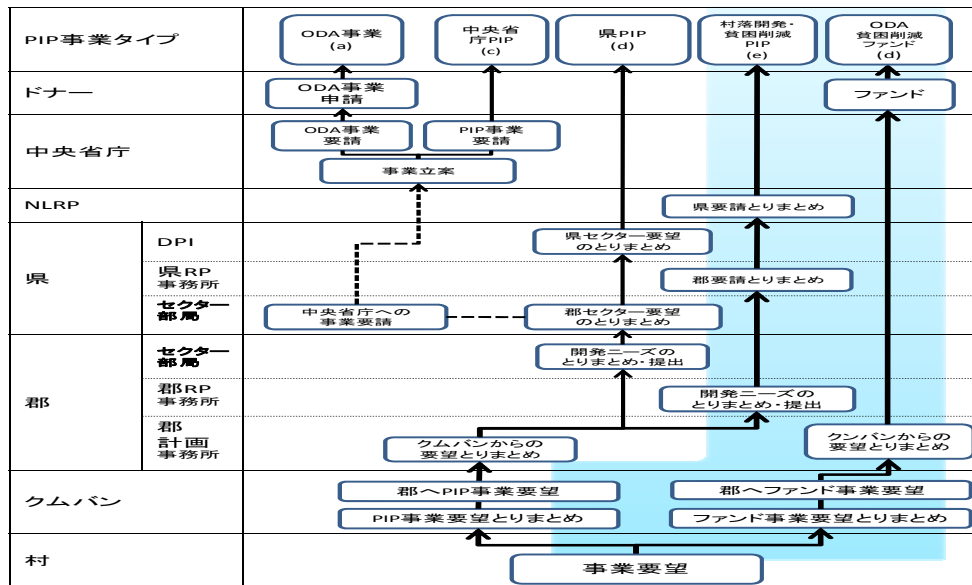
2年次前半に県や郡に赴いて現地調査を実施し、郡レベルから県への PIP 予算申請の流れを確認するとともに、それに関して以下の課題を抽出した。

成果 4-2 では、乏しいとされている郡レベル PIP 運営監理のキャパシティや情報収集力の実情を把握したうえで、それに見合った PIP 運営監理手法を提案する。具体的には、(a) 郡レベルで取りまとめているクムバン²⁰単位の農村開発・貧困削減型小規模 PIP 事業の事業審査を行う際のプロセスを整備し、(b) 予算申請や事業審査を行うに十分な情報を網羅した既存の事業申請や審査フォーマットの簡易版を開発し、実用化を目指す。

(a) クムバン開発ルートの活用推奨

村・クムバンからの PIP 事業申請方法は、以下の図のように現在 5 ルートある。

²⁰ クムバン (Kum-ban) : 指定された隣接村 (Ban) の集合体の名称。村落開発や貧困削減策を講ずる際に、基礎インフラや社会サービスを提供できる現状での最少単位として設定している。行政機能はなく、あくまで開発を実施するための集合体。



これらの中から、定常的にボトムアップ発案で PIP 事業が実現できる可能性のある事業申請ルートは、2007 年に首相府の下にできた国家村落開発・貧困削減委員会（National Leading Board for Rural Development and Poverty Alleviation：NLRP）を経て、中央省庁として MPI に申請するルートであることが分かった。この事業申請ルートは他のルートに比べて、直接村やクムバンの開発ニーズを吸い上げるのに適していると考えられる。本プロジェクトでは今後、同ルートでの事業申請を推奨しつつ、他のルートの活用状況を勘案し、担当省庁やドナーとの連携を深めて、事業規模やセクター戦略に合った最適な事業申請ルートを整備していく。

さらに、NLRP は県と郡に傘下組織を設置することになっているが、現状ではすべての郡や県で組織体制が整備できていないわけではない。そのため、当面は郡計画事務所や県 DPI の協力を得ながら事業申請・事業審査体制を固めていくことになる。

(b) クムバン開発をベースとした手法開発

【村・クムバン・郡レベルが活用できる PIP 運営監視ツールの開発】

こうしたルートに合わせて、村・クムバンが記入するフォーマットや、NLRP とその傘下機関、DPI が事業審査を行うためのフォーマットを作成している。これらのフォーマットは村・クムバンのレベルで行う小規模事業として、最低限必要な情報を網羅したものにしている。作成しているフォーマットは以下の表のとおり。

郡 PIP 運営監視（クムバン開発）事業申請・審査フォーマット一覧

フォーマット名	用途	記入者
PIP Format I-6 Project Proposal for Kum-ban Development Projects	村・クムバンの発案で新規 PIP 事業を申請する際のフォーマット。次年度予算申請時	クムバン事業担当者 郡事業担当者

	に提出し、SPAS の I-6 フォーマットで事業審査を受ける。	
PIP Format II-6 Progress Report for Kum-ban Development Projects	継続 PIP 事業の進捗確認と予算申請のフォーマット。次年度予算申請時に提出し、SPAS の II-6 フォーマットで事業審査を受ける。	同上
PIP Format III-6 Completion Report for Kum-ban Development Projects	事業の完了報告書。原則的に事業完了年度内に提出し、SPES の III-6 フォーマットで終了時評価を受ける。	同上
SPAS Format I-6 For NEW Kum-ban Development Projects	村・クムバン発案の新規 PIP 事業の審査フォーマット。事業申請 I-6 フォーマットの審査。	郡 RP 事務所／計画事務所 県 RP 事務所／DPI
SPAS Format II-6 For ONGOING Kum-ban Development Projects	村・クムバン発案の継続 PIP 事業の審査フォーマット。事業申請 II-6 フォーマットの審査。	同上
SPES Format III-6 For Completed Kum-ban Development Projects	完了した事業の終了時評価フォーマット。事業完了 III-6 フォーマットの評価。	同上

3) 郡事務所職員用のハンドブック作成とマニュアル・ハンドブック反映

このようにして、郡レベルに適用できるクムバン開発向けの PIP 運営監理のプロセスと手法を完成させたが、特にプロセスに関して今後引き続き他の省庁やドナーが活用しているクムバン開発ルートとの協議が必要である。そのため、現段階ではプロセス部分に関してはすべてマニュアル・ハンドブックに網羅するのは時期尚早であるため、2009 年度版のマニュアルには掲載せず、さらに郡事務所職員用のハンドブックを作成しなかった。次年度に、NLRP や MPI を中心として、クムバン開発を統合する動きがあるので、その方向性に合わせて、2010 年度版のマニュアルに反映させ、合わせて郡事務所職員用ハンドブックを作成する。

4) 研修カリキュラム、コンテンツ、研修実施ガイドの開発

研修は当初計画通り開発する。研修自体は、郡職員を直接対象としたものではなく、県を対象とした講師養成研修を行い、県から郡・クムバン・村への普及を促す。講師養成研修の対象者は元来県 DPI を想定していたが、それに NLRP 傘下の県村落開発・貧困削減事務所を加える。

5) 研修講師の養成支援

前項に基づき、当該分野に関連した講師養成研修を、評価局職員を対象として実施する。

(9) 【成果 4-3】セクタープログラム運営監理

実施した活動項目は、以下のとおりである。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1) アクションプランのレビュー2) パイロットセクターのプログラム策定準備3) パイロットセクターのプログラム策定4) プログラムマニュアルの改訂5) 研修カリキュラムとコンテンツの開発6) 研修講師の養成支援 |
|---|

※番号は作業工程計画に合わせる。

具体的な活動内容は、それぞれ以下のとおりである。

1) 開発計画のレビュー

国家、モデルセクター（公共事業・交通セクター）、3 県の県開発計画と国家開発計画アクションプランをそれぞれ入手し、目的志向型に再構造化を行った。

2) パイロットセクターのプログラム策定準備

NSEDP の次期 5 年計画（2011-15 年）への教訓をマニュアルにフィードバックするために、3 県のモデルセクターの、現状開発計画が持つ課題の整理を行った。認識された課題は以下のとおり。

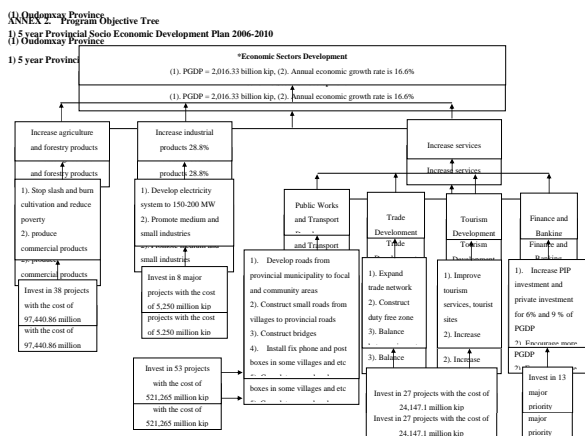
- ① 開発計画はセクター部門別に積み上げられるため、環境保全、貧困削減などの横断的テーマの達成方法が十分に示されていないことがある。
- ② 計画対象地域の中で、達成目標と現状とのギャップに着目した、地域別の投入の重みづけが示されていないケースがある。
- ③ 開発計画文書の中で、事業、活動、目標、目的という単語の使い方が統一されていないことがあり、論理が混乱しやすくなっている。
- ④ 計画の中での達成目標の指標が、定性的な記述だけで示されていることが多いため、定量的なモニタリングがしにくい。
- ⑤ 同じ県の開発計画とセクター開発計画の中で、同じセクターの記述なのに異なる開発目標が示されており、論理的におかしな部分がある。
- ⑥ 本来、各開発目標を達成する手段として、PIP 事業とそのサブセクターごとの集合であるプログラムが策定されるべきだが、実際には、一部の開発目標の下に PIP 事業がリストアップされていないケースがある。

3) パイロットセクターのプログラム策定

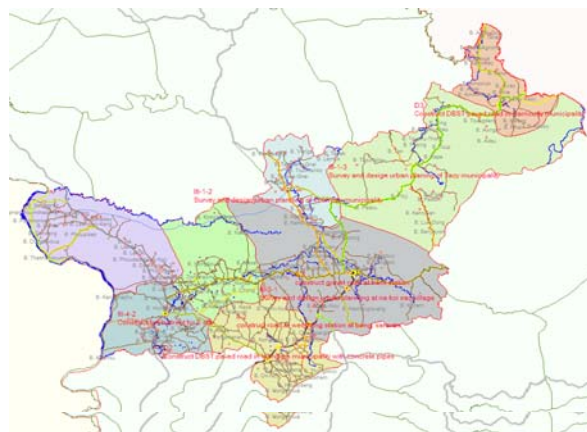
こうしたアクションプランや開発計画の分析結果を使い、これまでフェーズ1より提案してきた以下のプログラムツールの事例を開発した。

- ① 開発政策サマリー、
- ② プログラム目的系図 (Project Objective Tree : POT)、
- ③ クロノロジー・チャート
- ④ PIP マップ

ANNEX 2. Program Objective Tree



ウドムサイ県プログラム目的系図 (POT)



サラワン県 PIP マップ

4) プログラムマニュアルの改訂

上記 3 県モデルセクターのプログラムツール事例と今後に向けた課題を盛り込み、プログラムマニュアルをアップデートした。

5) 研修カリキュラムとコンテンツの開発

改訂されたマニュアルの内容を反映した研修カリキュラムとコンテンツを開発した。このコンテンツを活用し、2009年11月からは、各県・各省庁でセクター別にワークショップ形式の研修を実施する予定である。ここでは、参加者の行政官に、現開発計画に沿ったプログラムツールを作成してもらい、現計画書の課題を抽出し、次期開発計画書作成のための教訓を抽出する。この研修を通じて、①行政官の政策分析能力の強化、②構造的、論理的により改善された NSEDP の次期 5 年計画 (20011-15 年) 策定への貢献、を目指す。

6) 研修講師の養成支援

第 3 年次からの全国研修には、MPI の評価局、計画局、国際協力局からそれぞれ研修講師を派遣することで合意を得ている。PIP マッピングについては、フリー地理的情報システム (Geographic Information System : GIS) ソフトウェア²¹を使用して作成したため、評価局の

²¹ Map Window: <http://www.mapwindow.org/> 米国のオハイオ州立大学で開発し公開しているフリーソフトウェア。

ビサイ局長が任命した評価局若手カウンターパート職員 3 人を対象として 6 月 25、26 日に操作方法の研修を実施した。

1.3 当初計画との変更点及びその理由

(1) マニュアルの MPI 大臣署名

第 2 年次終了時点における本プロジェクトのマイルストーンはマニュアル・ハンドブックの本プロジェクト第 1 版の完成だった。当初、同マニュアルは MPI 大臣より正式承認を受け、署名入りのものを発行する予定だった。しかしながら、公共投資法が成立せず、2009 年 12 月の国会で再審議されることから、旧来の法的枠組みに基づいて作成されたマニュアル・ハンドブックの法的根拠が弱く、大臣をはじめとした MPI 内部の承認を受けることが困難となった。

この状況をふまえ、本年度は計画通りマニュアルを未承認ドラフトとして作成し発行した。次年度は、2 年次中に達成できなかった公共投資法に直接関連する項目を充実させ、また全般的に法的根拠を強化して反映させ、MPI 大臣からの正式承認を受け、2010 年に「お墨付き」改訂版として発行する。

(2) ハンドブックの発行延期

上述と同様、今年度中にハンドブックも本プロジェクト第 1 版を発行する予定だったが、公共投資法の承認が遅れていることを受けて、今期中はハンドブックを発行せず、来年度に発行することにした。

ハンドブックは各職責の法的根拠を示す記述が多くなるため、発行直後に法律が承認されると、それに伴う変更によって法的根拠が変わり、対象職員間で混乱を招く恐れがある。そういった混乱を避け、かつ上述通り正式承認マニュアル発行への動きも勘案して、現段階ではハンドブックを発行しないことが最適と考えた。来年度は、公共投資法やその関連法規に基づいた形で、本プロジェクトで開発した新手法やプロセスも織り交ぜた各職責別のハンドブックを発行する。

実施上の課題

(1) ODA カウンターパートファンドの運営監理に関する取り組み

業務実施報告のとおり、本プロジェクトでは MPI 国際協力局とともに調査を行い、課題を整理したうえで SPIS を開発した。SPIS は当初目的であるカウンターパートファンド申請機能に加えて、現行 PIS、PIR、PWP といったフォーマットに代わって FAR 作成のためのデータ収集に必要な機能も備えてある。

SPIS フォーマットを国際協力局側に提案した後、局内部で検討した結果、当初は採用の方向を示していたが、後になって SPIS を現行 PIS、PIR、PWP フォーマットに代わるものとして使用することに慎重な姿勢を示しはじめ、2009 年 8 月現在結論が出ないままである。国際協力局側は、10 月までにフォーマットを固め、11 月の円卓会議の場でドナーに発表する意向を示している。

今後は、本プロジェクトの提案に基づいて、国際協力局を経て中央省庁や各ドナーと調整を重ね、修正を加えながら ODA 事業情報収集ツールとしての標準化を図る。2009 年 8 月完成のプロジェクトマニュアルには ODA カウンターパートファンド運営監理の該当部分をいったん外して発行する。その後、国際協力局側の判断に基づいて書き直し、11 月に該当部分を加えて完全な形で配布する。

(2) 郡 PIP 運営監理の取り組み

業務実施報告のとおり、郡レベルに適用できるクムバン開発向けの PIP 運営監理のプロセスと手法を完成させた。しかしながら、PIP 予算申請ルートの統合化に関して、現在 NLRP と MPI との間で調整中であり、さらに貧困削減や郡開発のファンドを提供しているドナーとの関連性も検討しなければならないため、2 年次マニュアルにはその点に関する記述に説得力が欠けている面がある。今後引き続き NLRP、MPI、他の省庁やドナーとの協議が必要である。

1.4 業務実施人月表

担当	氏名	第2年次											MM		
		2008			2009								現地業務	国内作業	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			9月
チーフ アドバイザー	奥村一郎	(10/19-12/31) ■		74	(1/1-31) ■ 自社負担期間 (31)	(2/1-6/16) ■		136			(6/17-30) ■ 自社負担期間 (14)	(8/3-9/1) ■	9/2 ■ 自社負担期間 (1)	8.00	0.00
プログラム運営	長田博見	(10/24-12/22) ■		60		(1/28-2/26) ■					(6/2-7/1) ■			3.00	0.00
公共財政管理/ 歳入・予算計画	徳良淳				(1/11-2/9) ■				(4/20-6/18) ■					3.00	0.00
公会計/予算執行	畔田弘文		(11/16-2/16) ■					(3/15-4/4) ■		(5/9-6/13) ■				5.00	0.00
メタ評価/研修 開発・運営管理	平良那愛	(10/27-1/19) ■		85					(4/27-6/15) ■		(7/1-8/29) ■			6.50	0.00
業務調整	中村和美	(10/19-11/2) ■		15	(12/2-12/21) ■ 自社負担期間 (20)		(2/15-3/1) ■					(8/3-9/1) ■		(2.00)	0.00
												合計MM	25.50	0.00	

2. プロジェクト目標達成の進捗と見込み

プロジェクト目標「MPI と DPI が、本プロジェクトで普及・改善された手法に従って、PIP プロジェクトを審査し、ラオス政府が設定する PIP 予算上限の枠内で PIP の全体計画を編成するとともに、それらをモニタリングし、評価する」については、2 年次のマイルストーンである、①関連手法とプロセスを開発し、マニュアルを通じて提案する、②全国、全省庁普及のための研修 OJT の仕組みを確立する、のどちらも達成した。各成果に関する活動は活動計画表に従って行われており、2 年次を終了した時点では、公共投資法の不承認という外部条件があったものの、本プロジェクトの活動はほぼ順調に進捗しているといえる。

次年度以降、提案した各手法を検証しながらさらなる改善に取り組みつつ、マニュアルを充実させ、ハンドブックを発行する。研修に関しては制度化を目指すとともに人材資源開発（HRD）にも取り組む。

プロジェクト目標に関する各指標は、今回開発した手法を実際の PIP 予算策定プロセスで活用する前提で設定されたものであり、現段階では新手法は現場で活用されていないため、測定不能である。当初より、プロジェクト活動終了年と重なる 2010/2011 年度 PIP 予算申請時の MPI や DPI を測るものであるため、現段階では指標の達成見込みの判断が難しい。

【指標】

- ◇ 予算シーリングの枠と予算執行計画に従い、新しいシステムで審査、モニタリング、評価された国内 PIP 事業と ODA 事業のカウンターパートファンド部分の割合がプロジェクト終了時までには 100%となる。
- ◇ 計画、審査、モニタリング、そして評価の各段階におけるそれぞれの国内 PIP 事業に関するレポートの質が向上する。
- ◇ 中央省庁および県レベルの双方で、MPI・計画関連部署が財務省・県財務局とともに予算シーリングを設定し、実行する。
- ◇ PIP 予算における債務の割合が減少する。
- ◇ MPI が中央省庁とともに地域目標、年次目標として ODA 事業を含む PIP 事業の分配を明確にしたセクタープログラムを策定する。

3. 相手国との会議等

第2年次には、2回のJCC会議や全国研修以外には正式な会議を実施しなかった。

4. 業務実施機材品目リスト

プロジェクトを円滑に実施するため、以下の機材が購入された。

機材名	使用場所及び用途
エアコン	プロジェクトオフィスにて使用
プリンター	プロジェクトオフィスにて、マニュアル・研修資料作成に使用

さらに、JICAより以下の機材が供与された。

機材名	使用場所及び用途
車両（ミニバン）	全国研修実施・移動のために使用

5. 次年度の重点及び計画実施上の留意点

(1) 【成果 3】 PIP 運営監理法及び政令・省令の策定支援

- 同法案は再び 2009 年 12 月の国会に提出し、承認を目指すことになった。今後の取り組みとして、本プロジェクトで開発したプロセスやツールを法案や実施細則に盛り込むなど、3 年次も引き続き技術アドバイスを提供する。
- MPI は前回の承認前活動の一環として、省庁や県に対してワークショップなどを通じて法案の内容を説明していた。しかしながら、承認の権限を持つ国会議員に対しては説明の機会を持たなかったため、承認過程で理解を得られなかったと考える。そのため、次回の承認前活動では、国会議員への説明の機会を設けるよう提案したうえ、可能な範囲でその実施を支援する。

(2) 【成果 1】 技術の習得と定着のための活動（研修・OJT）

- 次年度は、本プロジェクトの 2 回目となる研修を実施する。研修の全体テーマは「質の充実～Brush-Up & Upgrade」である。研修は全国研修、財務研修、OJT の 3 つのコンポーネンツに分ける。
- 全国研修では 17 県すべてを、2009 年 11 月から 2010 年 1 月にかけてカバーする。これまで研修で網羅してきた PIP 運営監理手法のブラッシュアップと、本プロジェクトで新たに開発した各手法の習得を目的とする。
- 財務研修では、本プロジェクトで開発した PIP 予算監理手法と、PIP 財務管理手法をそれぞれ習得させることを目的とする。全国研修より研修対象者が絞り込まれるうえ、研修対応可能人数が少ないため、効率性を重視して別枠とした。2009 年 11 月から 12 月にかけて、全国 3、4 カ所で実施する予定。
- OJT では 2010 年 2 月から 3 月にかけて、全県と主な省庁を訪問し、実際の PIP 予算申請プロセス業務について実地に指導することを目的とする。

(3) 【成果 2-1】 PIP 予算管理手法の導入・制度化、【成果 2-2】 PIP 財務管理手法の導入・制度化

- 前項のとおり、財務研修を実施する。全国 3、4 カ所に、それぞれの近隣県から DPI 職員と財務関連職員を招き、PIP 予算管理と PIP 財務管理の各手法を指導するとともに、研修の場にてそれぞれの県の予算財務状況を計算するワークショップを実施する。
- 開発した手法の検証を行うとともに、各県の活用状況を調査する。検証と調査の結果をふまえて手法を改善し、3 年次マニュアルに反映させる。

(4) 【成果 4-1】 ODA カウンターパートファンドの運営監理

- 本プロジェクトの提案に基づいて、MPI 国際協力局を経て中央省庁や各ドナーと調整

を重ね、修正を加えながら ODA 事業情報収集ツールとしての標準化を図る。2009 年 11 月には円卓会議が実施されるので、その前後での集中的な取り組みが必要になってくる。

- 全国研修では、新たに設置された県 DPI 国際協力調整課の職員を招き、本プロジェクトが提案した事業申請プロセスやフォーマットの使い方について指導していく。また、研修実施チームに国際協力局の職員も入って、直接的な指導ができるようにする。

(5) 【成果 4-2】 郡レベルの PIP 運営監理

- 次年度は、NLRD ルートを柱として郡 PIP 運営監理方法の統合化を図る。同ルートを統合ルートとして認知させるためには、他のルートを使用している中央省庁やドナーとの調整が引き続き必要となる。
- 次年度の全国研修では、今般開発した郡 PIP 運営監理に関する研修を実施する。全国研修での主たる研修対象者は、郡 PIP 運営監理に直接携わる郡レベル職員ではなく、県計画局の職員が中心であるため、研修目的は「県計画局職員が、郡レベル職員に対して指導することができる」ことを目標としている。したがって、研修教材も①県計画局を対象としたものと、②郡レベル職員を対象としたもの（県計画局が指導教材として使うもの）の双方を用意することになる。
- 今般開発したフォーマットを実際の現場で活用し、さらに改善していく。

(6) 【成果 4-3】 セクタープログラム運営監理

- 次年度に実施する全国研修のひとつコマとして、プログラム運営監理手法を指導する。2 年次に完成したプログラムマニュアルの中の事例紹介をメインとして、POT、クロノロジー表、マッピングの作成指導が中心となる。とりわけ、マッピング指導はパソコンを使用するため、受講者レベルや研修状況に応じた対応が必要になってくる。

Appendix 1: Summary Report on OJT

Appendix 2: Table of Type 3 Projects

Appendix 3: OJT Follow-up Report

Appendix 4: Report on Meta-Evaluation and Training Evaluation

Appendix 5: Manual for PIP Project Management Contents Outline

Appendix 6: Manual for PIP Program Management Contents Outline

Summary Report on On-The-Job Training in Provinces & Ministries

Course / Module	On-The-Job Training (OJT) Course at All 17 Provinces & 8 Ministries
Date/Duration	February 2 nd -23 rd 2009 (1 week per province & 1 day per ministry)
Trainer	13 Officers from Department of Evaluation, MPI (MPI-DoE)
Facilitator	Mr. Douangchay, PCAP2 Local Consultant (Joined Team 5 only)

I. Objectives of the On-The-Job Training Course:

1. To help planning departments request PIP annual budget of FY2009/2010 in line with the MPI guideline/announcement through helping DPI screen out and assess proposals/progress reports and helping them conduct comparative assessment for prioritizing projects
2. To help project owners (PO) and planning departments understand Economic/Financial, Social and Environmental Analysis through Intensive Technical Training (ITT).
3. To follow-up the training course held in November 2008 to January 2009.
4. To detect needs for future training sessions

II. Preparation for OJT

- Knowledge & Skills: Training of Trainer (TOT) for On-The-Job Training Course was held to train new staff and refresh the skills of the other staff in order to have standard skills among all the OJT team members before going to conduct the OJT at the provinces and ministries. There are 15 participants including new staff attended in the TOT.
- Materials: References, such as Economic & Financial Analysis, Social Analysis, and Environmental Analysis, handouts for presentations, pre-post Test sheets, and format sheets on case study for working group of ITT.
- Logistic Arrangement: Logistic arrangements were conducted by MPI-DoE.

III. Main Activities of OJT

- To help planning departments to introduce how to instruct PO writing project proposals, progress reports and to help them conduct the assessment by using the methods and tools developed by MPI/PCAP.
- To inform planning departments and sector departments 2009/2010 PIP budget request schedule based on MPI guideline by using 2009/2010 PIP budget procedure check list.

IV. Schedule, Location, Teams, Agenda, and Methodology of the OJT

The training schedule, location, and teams is described as table below:

Schedule: February 2-23, 2009				
No.	Date	Province	Leader	Member
1	Feb 2-6	Oudomxay	Mr. Banlousith	Mr. Xengher
	Feb 9-13	Luangprabang		
	Feb 16-20	Sayabouly		
2	Feb 2-6	Phongsaly	Mr. Phetamphone	Mr. Viengkham
	Feb 9-13	Luangnamtha		
	Feb 16-20	Borkeo		
3	Feb 2-6	Vientiane Province	Ms. Oudalon	Ms. Vilavanh
	Feb 9-13	Xiengkhuang		
	Feb 16-20	Huaphanh		
4	Feb 2-6	Borlikhamxay	Ms. Somphat	Ms. Hongthong
	Feb 9-13	Vientiane Capital		
	Feb 16-20	Khammuan		
5	Feb 2-6	Attapeu	Mr. Vilaphanh	Mr. Phoupasong
	Feb 9-13	Sekong		
	Feb 16-20	Salavan		
6	Feb 2-6	Champasak	Mr. Lamphan	Mr. Sonphetvongsy
	Feb 9-13	Savannakhet	Mr. Sonphetvongsy	Mr. Keopaseurth
	Feb 17	MAF	Mr. Lamphan	
		MOE	Mr. Sonphetvongsy	
	Feb 18	MPWT	Mr. Lamphan	
		MOH	Mr. Sonphetvongsy	
	Feb 19	MIC	Mr. Lamphan	
		MOIC	Mr. Sonphetvongsy	
	Feb 20	MEM	Mr. Lamphan	
	Feb 23	MSW	Mr. Sonphetvongsy	
Total		17 Provinces & 8 Ministries	MPI-DoE: 13 Trainers	

OJT Agenda	
Day	Contents
Day 1	<ul style="list-style-type: none"> • Introduction of OJT Schedule. • ITT (Economic/Financial Analysis)
Day 2	<ul style="list-style-type: none"> • ITT (Social and Environmental Analysis) • Workshop check process and schedule of PIP annual budget preparation based on the MPI guideline no. 300
Day 3	<ul style="list-style-type: none"> • Screening & Information Check of Project Proposal Submitted. • Assessment by SPAS
Day 4	<ul style="list-style-type: none"> • Screening & Information Check of Project Proposal Submitted. • Assessment by SPAS
Day 5	<ul style="list-style-type: none"> • Comparative Assessment depending on necessity • Summary

Methodology:

- To lecture general theories by trainers
- To conduct activities in working group.
- To present the working group results on case study of the Economic and Financial Analysis (representative of group).
- To help Planning Departments how to instruct PO writing project proposal and to help Planning Department conduct the absolute and comparative assessment.

V. Main Results of OJT

1. Finding on PIP budget compilation as a whole

- It is noted that the tools and methods developed by MPI/PCAP, such as PIP budget request formats and assessment tools, have become increasingly common nationwide.

2. Issues on PIP budget compilation schedule

- MPI guideline No.300 had not been known in many provinces even after its release on 10 February 2009. Thus organizations concerned did not know the actual PIP budget request schedule.
- In many provinces, the submission of project proposals and progress reports for budget request from the sector departments to DPI was delayed although the submission deadline was announced in each province.

3. Issues on PIP budget compilation

- In some organizations, incorrect project proposal formats were used for budget request, which could cause low assessment results.
- In some organizations, quality of project assessment was still low.
- In some organizations, level of understanding of project proposal writing among some officials who participated in the PCAP2 training was still low.
- Officials who did not participate in the PCAP2 training did not understand project assessment.
- In some organizations, level of understanding of comparative assessment was still low.

4. ITT results are indicated as following chart:

It should be noted that more than 70% of all the participants passed the post-test of financial/economic analysis, social analysis, and environmental analysis in 14 provinces, 16 provinces, and 16 provinces, respectively. Please see the table below for details.

Pre/Post Test Result by Economic and Financial Analysis

No.	Provinces	Participants	Participants		Under 70% (%)	Average of Pre-Test Result (Points)	Average of Post-Test Result (Points)	Average of Progress (Points)
			Achieved 70%	Covered (%)				
1	Phongsaly	45	30	66.7	33.3	41.3	74.1	32.8
2	Luangnamtha	50	37	74.0	26.0	40.6	75.1	34.5
3	Borkeo	47	36	76.6	23.4	40.7	78.1	37.3
4	Xaiyabouly	46	41	89.1	10.9	50.4	82.1	31.6
5	Luangprabang	36	23	63.9	36.1	35.8	75.3	39.5
6	Huaphanh	36	34	94.4	5.6	65.5	89	23.5
7	Xiengkhuang	39	37	94.9	5.1	65.1	89.3	24.2
8	Vientiane Pro.	40	36	90.0	10.0	60.8	88.4	27.6
9	Vientiane Cap.	54	46	85.2	14.8	50	87.9	37.9
10	Bolikhambay	39	27	69.2	30.8	53.7	71.1	17.3
11	Savannakhet	38	35	92.1	7.9	46.4	88.3	41.5
12	Champasak	37	31	83.8	16.2	48.8	82.1	33.4
13	Sekong	40	40	100	0.0	45.8	78.9	33
14	Attapeu	39	39	100	0.0	46.5	87.3	40.7
Average:		41.9	35.1	84.3	15.7	49.4	81.9	32.5
Total:		586	492					

Pre/Post Test Result by Social Analysis

No.	Provinces	Participants	Participants		Under 70% (%)	Average of Pre-Test Result (Points)	Average of Post-Test Result (Points)	Average of Progress (Points)
			Achieved 70%	Covered (%)				
1	Phongsaly	45	39	86.7	13.3	44.9	82.1	37.2
2	Luangnamtha	50	42	84.0	16.0	50	78.3	37.3
3	Borkeo	47	42	89.4	10.6	48.2	81	32.8
4	Xaiyabouly	46	36	78.3	21.7	47.2	75.6	28.5
5	Luangprabang	36	25	69.4	30.6	43.7	70.8	27.1
6	Huaphanh	36	35	97.2	2.8	70.7	92.4	21.8
7	Xiengkhuang	39	31	79.5	20.5	53.8	83.6	29.8
8	Vientiane Pro.	40	34	85.0	15.0	58.6	79.8	21.2
9	Vientiane Cap.	57	49	86.0	14.0	57	52	25
10	Bolikhambay	38	28	73.7	26.3	56.4	74.4	17.9
11	Savannakhet	38	33	86.8	13.2	50.8	83.1	32.3
12	Champasak	38	31	81.6	18.4	53.4	81.1	27.7
13	Sekong	40	39	97.5	2.5	59.7	81.1	21.4
14	Attapeu	39	34	87.2	12.8	54.4	79.6	25.2
Average:		42	36	84.4	15.6	53.5	78.2	27.5
Total:		589	498					

Pre/Post Test Result by Environmental Analysis

No.	Provinces	Participants	Participants		Under 70% (%)	Average of Pre-Test Result (Points)	Average of Post-Test Result (Points)	Average of Progress (Points)
			Achieved 70%	Covered (%)				
1	Phongsaly	45	35	77.8	22.2	44.8	73.7	28.9
2	Luangnamtha	50	43	86.0	14.0	57	81.2	28.3
3	Borkeo	47	37	78.7	21.3	50	77.5	27.4
4	Xaiyabouly	47	34	72.3	27.7	47.8	70.6	22.7
5	Luangprabang	36	18	50.0	50.0	46	62.8	16.8
6	Huaphanh	36	34	94.4	5.6	48.9	86.3	37.4
7	Xiengkhuang	39	32	82.1	17.9	51.9	86.6	34.7
8	Vientiane Pro.	40	34	85.0	15.0	50.7	85.6	34.9
9	Vientiane Cap.	55	39	70.9	29.1	58.2	82.3	24.1
10	Bolikhambay	36	30	83.3	16.7	50.1	70.5	20.4
11	Savannakhet	38	33	86.8	13.2	45.4	84.9	39.4
12	Champasak	38	33	86.8	13.2	45.8	80.6	34.8
13	Sekong	40	35	87.5	12.5	51.7	73.8	22.2
14	Attapeu	39	30	76.9	23.1	41.5	71.9	31.4
Average:		41.9	33.4	79.9	20.1			
Total:		586	467					

5. Issues on conducting OJT

- Conducting OJT in February helped project owners write their project proposals but did not help DPI assess the requested projects this year. Therefore, timing of OJT needs to be reconsidered along with the next year's OJT objectives
- The OJT course should be conducted as an independent training apart from ITT.
- In all 14 SPAS and SPES formats, only I-4 format has case study, therefore there was a request for case studies for the other formats for better understanding.

Appendix 2: Table of Type 3 Projects

Table of Type 3 projects requested from DPI to MPI for the FY2009/10 annual PIP budget (First submission)

Province	Project Type	(1) The number of projects requested from DPI to MPI	(2) The amount of budget (million kip)	(3) The number of assessed projects in the request from DPI to MPI	(4) The number of non-assessed projects in the request from DPI to MPI	(5) The number of F projects in the request from DPI to MPI	(6) The number of non-assessed and F projects in the request from DPI to MPI
01 Vientiane Capital	CP	36	4,297.00	2	34	0	34
	New	217	157,615.27	120	97	12	109
	On-going	70	41,819.43	0	70	0	70
	Debt	247	65,000.00	0	247	0	247
	Total	570	268,731.70	122	448	12	460
02 Phongsaly	CP	2	1,093.76	2	0	0	0
	New	21	18,557.28	21	0	0	0
	On-going	2	1,145.00	2	0	0	0
	Debt	6	4,818.86	0	6	0	6
	Total	31	25,614.89	25	6	0	6
03 Luangnamtha	CP	7	2,192.84	5	2	0	2
	New	47	26,980.67	38	9	1	10
	On-going	12	6,927.20	0	12	0	12
	Debt	16	6,865.66	0	16	0	16
	Total	82	42,966.37	43	39	1	40
04 Oudomxay	CP	21	668.42	5	16	2	18
	New	6	4,826.19	0	6	0	6
	On-going	9	7,181.58	2	7	0	7
	Debt	0	0.00	0	0	0	0
	Total	36	12,676.19	7	29	2	31
05 Bokeo	CP	0	0.00	0	0	0	0
	New	36	23,026.00	25	11	0	11
	On-going	4	3,156.00	4	0	0	0
	Debt	0	0.00	0	0	0	0
	Total	40	26,182.00	29	11	0	11
06 Luangpabang	CP	5	2,314.40	0	5	0	5
	New	36	20,799.42	21	15	1	16
	On-going	21	8,806.75	2	19	0	19
	Debt	0	0.00	0	0	0	0
	Total	62	31,920.57	23	39	1	40
07 Houaphan	CP	22	1,115.80	2	20	0	20
	New	46	26,424.04	39	7	1	8
	On-going	13	9,172.12	0	13	0	13
	Debt	10	18,703.21	0	10	0	10
	Total	91	55,415.17	41	50	1	51
08 Xayabouly	CP	14	3,602.00	0	14	0	14
	New	91	33,464.00	30	61	0	61
	On-going	35	17,013.00	1	34	0	34
	Debt	16	16,975.00	0	16	0	16
	Total	156	71,054.00	31	125	0	125
09 Xiengkhuang	CP	10	2,044.20	5	5	0	5
	New	27	3,256.80	25	2	0	2
	On-going	22	7,599.00	0	22	0	22
	Debt	12	4,747.50	0	12	0	12
	Total	71	17,647.50	30	41	0	41

Province	Project Type	(1) The number of projects requested from DPI to MPI	(2) The amount of budget (million kip)	(3) The number of assessed projects in the request from DPI to MPI	(4) The number of non-assessed projects in the request from DPI to MPI	(5) The number of F projects in the request from DPI to MPI	(6) The number of non-assessed and F projects in the request from DPI to MPI
10 Vientiane	CP	18	3,418.29	0	18	0	18
	New	126	77,178.40	20	106	0	106
	On-going	65	33,652.23	16	49	0	49
	Debt	23	20,166.34	0	23	0	23
	Total	232	134,415.26	36	196	0	196
11 Bolikhamsay	CP	2	909.00	2	0	0	0
	New	139	49,762.00	139	0	11	11
	On-going	27	50,237.30	18	9	0	9
	Debt	15	11,931.00	0	15	0	15
	Total	183	112,839.30	159	24	11	35
12 Khammouane	CP	0	0.00	0	0	0	0
	New	15	2,024.52	11	4	0	4
	On-going	38	9,296.57	13	25	0	25
	Debt	23	10,500.33	0	23	0	23
	Total	76	21,821.42	24	52	0	52
13 Savannakhet	CP	7	4974.63	2	5	0	5
	New	103	103202.395	76	27	0	27
	On-going	66	91082.65	2	64	0	64
	Debt	20	6,000.00	0	20	0	20
	Total	196	205,259.68	80	116	0	116
14 Salavan	CP	7	1,362.00	2	5	0	5
	New	29	5,245.00	12	17	0	17
	On-going	27	5,974.00	6	21	0	21
	Debt	17	6,375.00	0	17	0	17
	Total	80	18,956.00	20	60	0	60
15 Sekong	CP	0	0.00	0	0	0	0
	New	25	9,982.97	6	19	0	19
	On-going	18	8,816.93	0	18	0	18
	Debt	4	3,200.10	0	4	0	4
	Total	47	22,000.00	6	41	0	41
16 Champasak	CP	7	9729.27	1	6	0	6
	New	116	19912.28	18	98	0	98
	On-going	101	16303.43	65	36	0	36
	Debt	26	5,546.17	0	26	0	26
	Total	250	51,491.15	84	166	0	166
17 Attapeu	CP	19	8,089.38	5	14	0	14
	New	23	7,772.67	21	2	0	2
	On-going	22	9,258.40	0	22	0	22
	Debt	0	0.00	0	0	0	0
	Total	64	25,120.45	26	38	0	38

**Report
on OJT Follow-up & PIP Management Study Trip
to Oudomxay, Luang Prabang and Sanyabouly Provinces**

PCAP2 Chief Advisor
Ichiro OKUMURA

This report explains the results of the study trip to the abovementioned provinces, conducted during March 15th to 21st. This report also indicates some follow-up measures that would be conducted within the PCAP2 activities.

1. Objectives of the Study Trip

The following were set up as the objectives of the study trip;

- To study and follow up on the PIP budget request proceedings
- To study and provide practical advice on SPAS and CompAss
- To study PIP management situations in districts

2. Dispatch Members

The following were the members of the study trip;

- Mr. Vixay XAOVANA, Director General, MPI-DOE
- Mr. Ichiro OKUMURA, Chief Advisor, PCAP2
- Mr. Saman MIBOUN, Project Staff, PCAP2
- Mr. Douangchay GNANONG, Project Staff, PCAP2

3. Schedule

Date/Day	Time	Contents
15 Mar (Sun)		Travel Vientiane to Luang Prabang (flight) Luang Prabang to Oudomxay (car)
16 Mar (Mon)	AM	Interview with Mr.Somvang, Deputy Director, DPI on the current proceedings of the PIP budget request for 2009/2010 Interview with staffs from Division of Evaluation and Division of Planning, DPI; topics on PIP budget procedure
	PM	Continue interview with staff, topics on SPAS and CompAss procedure and results
17 Mar (Tue)	AM	Interview with Mr. Konthanu, Head of Division of Evaluation, DPI on District-Level PIP Management
	PM	Site visit to Na Maw District and interview with Mr . Khamsem, Vice Governor, and interview with 5 staffs from DPSO on District-Level PIP Management
18 Mar (Wed)	AM	Travel Oudomxay to Luang Prabang (car)
	PM	Interview with Mr. Khamhong, Deputy Director and 4 DPIstaffs; toics on the current proceeding of the PIP budget request and District-level PIP management
19 Mar (Thu)	AM	Continue interview with DPI staffs; topics on SPAS and CompAss procedure and results
	PM	Luang Prabang to Sanyabouly (car)
20 Mar (Fri)	AM	Interview with Mr. Chanthanone, Acting Director of DPI on the curent proceeding of the PIP budget request and District-level PIP management
		Interview with staffs from Division of Evaluation and Division

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

		of Planning, DPI; topics on PIP budget procedure and district-level PIP management
	PM	Continue interview with DPI staffs; topics on SPAS and CompAss procedure and results
21 Mar (Sat)		Sayabouly to Luang Prabang (car) Luang Prabang to Vientiane (flight)

4. Study Results and Further Follow-up by Province

1) Oudomxay Province

Oudomxay Province follows the Guideline 300¹, and is preparing to submit the first proposal of the PIP budget request list to MPI on March 20th.

(a) On-the-Job Training by MPI Staff

PCAP2 did not conduct Provincial PIP Management Training in Oudomxay Province, since the series of training with the same contents were conducted in 2007 with the same contents.

Two staffs were dispatched from MPI as On-the-Job Training (OJT) from February 2nd to 6th, 2009. They were very cooperative in supporting Project Owners (POs) in writing Project Proposals (PPs) and Progress Reports (PRs). However, since not many POs have prepared PPs/PRs at that timing, the period of future dispatch can be a few weeks later. OJT support in the period of Comparative Assessment is also requested.

(b) Project Proposals and Progress Reports

Collection of PPs and PRs were delayed, but managed to have most of them by the first week of March. Although the submission of PPs are reasonable, submission of PRs for ongoing projects are not sufficient. According to DPI staffs, lack of project information due to job rotation in sector departments is seemingly one of its factors.

(c) Absolute Assessment

Absolute assessment has been completed by March 13th. DPI staff conducted 165 absolute assessments through the SPAS format. SPAS for some ODA projects that require counterpart fund were also conducted, although not required as an obligation. The following chart indicates the rating results as of March 16th.

	A	B	C	D	F	Total
# of Projects	27	43	49	10	36	165

According to DPI staffs, some PIP projects that did not conduct SPAS were due to the following factors;

- None or lack of PIP project information from POs

¹ Guideline 300: Announced by MPI on February 10th, 2009 on the preparation of the NSEDP and PIP for 2009/2010. Deadline of submission is stated as March 20th, but the budget guideline (which is said to be 115-120% of this year's budget) is actually not described.

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

- Submission through wrong PP/PR formats by POs
- Type 1 and 2 projects, of which the provincial level does not have the authority to assess (5 projects).

Basically, PIP project without assessment, or rated “F” in SPAS would be removed from the PIP list in time of submission.

(d) Comparative Assessment

DPI recognizes the usefulness of Comparative Assessment (CompAss) workshops when prioritizing projects within each sector within the limited budget allocation, and plans to conduct a series of workshops in the final week before submission of the PIP list to MPI.

(e) PIP Budget Request

The total amount of all PIP project budget requests as of March 16th is 119 billion Kip. According to the Guideline 300, the estimated budget amount for this year is 115-120% of that of this year's budget. This year's budget is 15 billion Kip, so the amount is estimated around 18 billion for next year. DPI is targeting to reduce the budget request amount to at least 30 to 40 billion Kip before submitting to MPI in March 20th.

(f) District-Level PIP Management

Oudomxay actively utilizes the kum-ban development route for PIP project planning, which involve district level offices and the recently established District Rural Development Office (DRDO) in districts and in Provincial Rural Development Committee (PRDC) in provinces (Detailed explanation of the kum-ban development route is indicated later in chapter 5-5)). Since capacity levels in district are not enough to evaluate the 2006-2010 SEDP and prepare PPs/PRs with appropriate information, DPI conducted a half-day training session inviting District Planning and Statistics Office (DPSO) in February 20th. DPI staffs were then dispatched to each district from February 24th to March 6th, in order to provide further technical support.

[Visit to Nam Maw District, Oudomxay Province]

The team visited Nam Maw District, Oudomxay Province to study the PIP management situation in the district level. Mr. Konthanu, Head of Evaluation Division, DPI joined us. Mr. Khamsem, Vice Governor of the district greeted us, along with Mr. Somchan, Head of DPSO and 5 staff.



Nam Maw District is located approximately 70km from central Oudomxay, and shares its boundary with Luam Nam Tha, Phongsaly Provinces and China. 87% of its land is upland areas.

The population is approximately 34,000 with 5,000 households. There are 64 villages, 9 kum-bans and 4 big villages. The district is categorized as one of the 47 poorest districts nationwide, with 1,300 poor households.

Exports of commodities such as bamboo to China are increasing. Products such as corn, maize, chili are also exported. These are recently exported also to Thailand, through the central Oudomxay market.

The kum-ban development route for PIP project planning started in 2007/2008. Before that, PIP project requests were made through provincial sector departments. Currently, 70% of the PIP projects implemented in the district are through the kum-ban development route, while 30% of them are through the provincial sector departments. Normally PIP projects that are small, easy to manage and completes in a kum-ban are through the kum-ban development route, while projects that are technically difficult or ranges in multiple kum-

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

ban areas are through the sector route.

A total of 68 projects were requested from kum-bans; an average of 5-6 projects per kum-ban. Projects are already prioritized at the kum-ban levels.

Issues in the districts are lack of staff number, capacity and equipment for gathering and sending information. There were requests for conducting training for district level staffs.

(g) Overall Situation and Requests from Province/District

Decision Makers of the province acknowledges the importance of project assessment, therefore, follows guidelines and instructions that DPI provides. PCAP methods and tools, along with its training activities are working effectively in improving PIP management.

However, submission deadlines of the PPs/PRs were not kept. Improvements in scheduling of the PIP budget process, including announcements and activities to monitor such deadlines of submission, are needed for further consideration.

Capacity of staff in writing project proposals and progress reports, especially in the districts, are not enough. Therefore, district-level staff training is strongly requested from both provincial and district levels. Allocation of budget for frequent travelling to districts was also requested.

An appropriate filing system that would be capable to store and share PIP project information was also requested from DPI.

2) Luang Prabang Province

Luang Prabang Province is preparing to submit the first proposal of the PIP budget request list to MPI on March 20th. The original schedule of submission was April 15th. However, after Dr. Bountavy, Vice Minister of MPI visited Luang Prabang, the schedule was moved up.

(a) Provincial PIP Management Training and Seminar

PCAP2 conducted Provincial PIP Management Training in December 2008. The training was well accepted by DPI and sector department staff, and the timing was appropriate. However, since the training had weight on project assessment, more time was needed for writing PPs/PRs, since sector department staffs were the one who required more of this type of training.

The Governor along with Directors of sector departments attended the seminar. The directors recognized the importance of project assessment, but have not come to the level of understanding the methods in detail. It is recommended from DPI to hold another seminar for director levels to deepen the understanding.

(b) On-the-Job Training

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

Two staffs were dispatched from MPI as OJT from February 9th to 13th, 2009. They conducted an Intensive Technical Training (ITT) and was perceived by participants as very informative. They were very cooperative in supporting POs in writing PPs and PRs. However, since not many POs have prepared PPs/PRs at that timing, the period of future dispatch can be a few weeks later. OJT support in the period of Comparative Assessment is also requested.

(c) Project Proposals and Progress Reports

The initial deadline of PPs/PRs was January 15th. However, only 8 projects submitted PPs/PRs on time. Dr. Bountavy re-announced the deadline of PPs/PRs submission to be March 5th, but not all sector departments responded on time. The Department of Public Works and Transportation (DPWT) has only submitted a project list consisting 14 of their PIP projects to be requested for budget.

According to DPI, the initial deadline does not seem too early, since the announcement was made in mid December immediately after the PIP management training. The reason was because the POs were not used to writing PPs/PRs at all, including collection of necessary information such as Project Purpose and its indicators, cost calculation and Overall Goal. In the case of DPWT, only one staff attended the PIP management training.

As of March 18th, a total 73 project are listed, and 18 more are expected to be added, totaling 91 projects.

There had been an issue whether Environment Certificates were an obligation even for small-sized projects. Certificate fees charged for paper inspections from Water Resources and Environmental Office (WREO) in the province were 500 thousand Kip regardless of project size, and additional charges are required for site checking. Last year, the Lao Youth Union applied 3 projects and paid the fees for Environment Certificates, but they were not approved, resulting loss of budget for nothing.

(d) Absolute Assessment

DPI staff conducted 46 absolute assessments through the SPAS format. The results are reflected in the PIP project budget request list. SPAS for one ODA project (Red Cross) that requires counterpart fund was also conducted, although not required as an obligation. The following chart indicates the rating results as of March 16th.

	A	B	C	D	F	Total
# of Projects	19	4	1	0	22	46

40 projects have not yet been assessed. 25 of them are ongoing projects, of which SPAS were not conducted due to PRs not submitted. 14 projects are from DPWT, and 6 from other departments. According to DPI staffs, PIP projects that did not conduct SPAS were due to the following factors;

- Ongoing projects were not included in the obligations of report submission or SPAS this year.

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

- Some project were submitted directly to Division of Planning, and not transferred as of now to Division of Evaluation.
- There was not enough information to conduct SPAS for some projects (including “F” projects).

Assessment results are not fed back to the POs as of now. Basically, PIP projects without assessment, or rated “F” in SPAS would be further discussed with sector departments for assessment, or improvement of contents before the official PIP budget request list submission to MPI.

(e) Comparative Assessment

CompAss workshops were not conducted because sector departments cut some projects by themselves, and were not convinced to conduct CompAss workshops with DPI.

(f) PIP Budget Request

The total amount of all PIP project budget requests as of March 18th is 44 billion Kip. According to the Guideline 300, the estimated budget amount for this year is 115-120% of that of this year’s budget. This year’s budget is 23 billion Kip, so the amount is estimated around 28 billion for next year. DPI will submit the 44 billion Kip as it is, with further internal discussion on reducing the budget.

(g) District-Level PIP Management

Most of the requests for PIP projects come from the provincial sector departments; from smaller sectors. The RDC route is not established in Luang Prabang yet.

(h) Overall Situation and Requests from Province/District

DPI has difficulties in collecting PPs/PRs since it is their first year with the new formats and procedure. Projects from DPWT, and also projects that were instructed directly from the Governor tend to lack information.

Submission deadlines of the PPs/PRs were not kept. Improvements in scheduling of the PIP budget process, including announcements and activities to monitor such deadlines of submission, are needed for further consideration.

Continuous training in writing project proposals and progress reports to the sector department staff is strongly needed. A legal framework supporting the process and methods/tools is also requested. This will ensure that the sector departments submit the appropriate information on time.

Discussions between MPI/PCAP2 and Water Resources and Environmental Administration (WREA) in the Prime Minister’s Office are needed in order to exchange information on the cost of Environment Certificates to PIP projects.

3) Sanyabouly Province

Sanyabouly Province is preparing to submit the first proposal of the PIP budget request list to MPI on March 20th .as instructed in Guideline 300.

(a) Provincial PIP Management Training and Seminar

PCAP2 conducted Provincial PIP Management Training in December 2008. The training was well accepted by DPI and sector department staff, and the timing was appropriate. Staff from sector departments who attended the training understood the new methods up to a certain level. However, attendance of sector department staffs was not sufficient because they were “busy”. Additional training is necessary for sector department staffs in order to gain recognition of better PIP management and PCAP methods/tools. DPI invited staffs from DPSO in the 10 districts. DPSO shared the training results with their staff after returning.

(b) On-the-Job Training

Two staffs were dispatched from MPI as On-the-Job Training (OJT) from February 16th to 20th, 2009. They conducted an Intensive Technical Training (ITT), and supported POs in writing PPs/PRs. However, since not many POs have prepared PPs/PRs at that timing, the period of future dispatch can be a few weeks later. OJT support in the period of Comparative Assessment is also requested.

(c) Project Proposals and Progress Reports

As of March 20th, 173 projects were included in the PIP list. Following are the number of projects and total amount by project category

;

	New	Ongoing	C/P fund	Debt	Total
# of Projects	92	37	28	16	173
Amount (bil.Kip)	47.8	26.5	11.2	17.0	102.5

DPI found improvements in the contents of PPs/PRs as compared to past reports submitted by POs. there were only 2-3 PRs that were collected. POs were generally cooperative because of the instructions from the Decision Makers.

Since Technical Promotion (TP) projects are now budgeted under the responsibility of the Ministry of Finance (excluding some TP projects that are part of a construction project component). Therefore, the TP projects that were submitted to DPI will be passed on to Department of Finance (DOF). PCAP PP format is used for budget request to DOF, but it may cause confusion to them since they are not familiar with the format. DPI and DOF will make sure that TP projects will be submitted directly to DOF next year onwards.

(d) Absolute Assessment

DPI staff conducted 57 absolute assessments through the SPAS format. The results are reflected in the PIP project budget request list. 21 TP projects are included. The following

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

chart indicates the rating results as of March 20th. One ODA project (China), of which counterpart fund amount is much more than donor amount, was assessed through SPAS.

	A	B	C	D	F	Total
Construction # of Projects	5	23	7	0	0	35
TP # of Projects	2	20	0	0	0	21
Total	7	43	7	0	0	57

All 57 projects are new projects. Ongoing projects were not assessed this year. 22 projects have not been assessed due to lack of information. Some projects applied under “new” projects are actually completed by contractors, therefore very difficult to assess.

Assessment results are included in the reported to the Vice Governor as reference for discussion with sector departments. Assessment results are not fed back to the POs as of now.

(e) Comparative Assessment

CompAss workshops were not conducted because of delay in PP/PR submission. Discussions on project priorities by sectors will be conducted after the submission of the PIP budget request list.

(f) PIP Budget Request

The total amount of all PIP project budget requests as of March 20th is 102 billion Kip. According to the Guideline 300, the estimated budget amount for this year is 115-120% of that of this year's budget. This year's budget is 18 billion Kip, so the amount is estimated around 21-22 billion for next year. DPI will submit the 102 billion Kip as it is, with further internal discussion on reducing the budget.

(g) District-Level PIP Management

Most of the requests for PIP projects come from the provincial sector departments. However more projects have been requested as Kum-ban projects (25 projects, 9,138 million Kip). Management of these projects will be handed over to provincial RDC, although budget itself is still a part of PIP. Cost calculation of such projects is estimated with the support of the provincial sector departments.

There is a plan to establish a new district. However, it is estimated to cost more than 100 billion Kip of additional development fees.

(h) Overall Situation and Requests from Province/District

Sanyabouly Province still follows the customs from the past where some PIP projects that not approved were implemented anyway with the costs born by the contractor. There is also a tendency to aggressively prioritize development rather than stabilize the PIP financial

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

situations. However, DPI and sector departments maintain good relationships. Therefore, project assessment will gradually be used as a common procedure.

Discussions with MOF on the procedures of TA project budget request are needed. PCAP2 can suggest MOF/DOF to utilize the PP/PR formats, along with SPAS formats for their reference in approval.

For Kum-ban development and District-level PIP management, discussions with RDA, PMO is essential.

5. Study Results and Further Follow-up by Topic

1) PIP Budget Request Proceedings

All three provinces moved up their procedures in order to match the deadline of PIP list submission set on the March 20th, accordingly to the Guideline 300. This was due to the clear deadline statement in the Guideline, strong recommendations by MPI and the efforts to meet this deadline by DPI. The following

[Submission of PPs/PRs by Sector Departments and Districts]

All three provinces studied, DPI has made announcements to sector departments and district offices by December 2008, to submit their PPs/PRs by the end of February 2009 at the latest. However, sector provinces and districts did not submit their reports on time, causing delays to the total assessment procedure. The following describes the actual schedule that each DPI concluded;

Province	Oudomxay	Luang Prabang	Sanyabouly
Collection of Project Proposal and Progress Report	13 March	13 March	13 March
Compilation of SPAS Results	13 March	13 March	13 March
Compilation of CompAss Results	(plan) 17-19 March	(not done)	Not done
Submission to MPI	20 March	20 March	20 March

Overall submission of PPs/PRs in Oudomxay Province is fair, although difficulty is seen in the newly established kum-ban development projects. For Luang Prabang and Sanyabouly Provinces, there are still difficulties in submission from the sector department level since it is the first time for them, and still limited amount of staff had just attended the training recently. Generally, it seems difficult for the POs to fill in relatively complicated projects or larger projects that require more information as compared to smaller projects.

[Progress Reports for Ongoing Projects]

All three provinces were able to collect PPs for new projects, but were not successful in collecting PRs for ongoing projects. Reasons are as follows;

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

- Generally, DPI is still not familiar with monitoring ongoing projects, and the importance of PR submission. They have bigger priority in collecting information for new projects.
- For Luang Prabang and Sanyabouly provinces, it was their first time to official request to sector departments and districts to submit report based on the PCAP format. Therefore, ongoing projects presently difficulties in obtaining ongoing project information from past documents are not aligned with the information required in the PR. It is estimated that it would take a few years to have stable information of ongoing projects.

Since ongoing projects take a large portion of the PIP budget every year, MPI/PCAP2 must further promote the submission of PRs and ongoing SPAS.

2) Project (Absolute) Assessment and SPAS

Due to the slow turnout of PPs/PRs, project assessment (SPAS) was done simultaneously whenever a PP/PR was submitted. Average consumption of time in filling the SPAS form is said to be 30 minutes to 1 hour if the information provided is sufficient, but a few more hours if the information indicated in the PP/PR is not enough, thus needed to contact the PO and obtain necessary information.

The following chart indicates the projects assessed in each province;

	Oudomxay	Luang Prabang	Sanyabouly	Total
Total # of projects (submitted to MPI)*	240 (47)	91 (68)	173 (175)	504 (290)
# of projects assessed through SPAS	165	46	57	268
SPAS ratio**	68.8% (351.0%)	50.5% (67.6%)	32.9% (32.6%)	53.2% (92.4%)

* Number of projects indicated are figures obtained during the study trip. Number of projects in brackets are figures from the PIP lists that each province have submitted to MPI by March 20th.

** Ratio in brackets are results of number of projects submitted to MPI divided by number of assessed projects.

Turnout and ratio of assessed projects in Oudomxay is relatively higher, because of its experience in the past two years as the PCAP1 monitor province. It can also be observed that Oudomxay DPI is reducing the number of projects from what they collected when submitting the PIP list to MPI. Although not yet confirmed, we can observe that projects that are not assessed are deleted from the list, and that Oudomxay DPI is actually utilizing the SPAS results when selecting projects. The same trend can be seen from Luang Prabang DPI, although the coverage of projects assessed is not as high.

Considering the fact that it is the first time for Luang Prabang and Sanyabouly Provinces to conduct SPAS in the actual PIP budget request procedure, the number of projects assessed in DPI is satisfactory.

3) Comparative Assessment

At the time of the study, none of the three provinces conducted comparative assessment workshops. DPI for all provinces promised that they will try to conduct CompAss workshops before the final budget negotiations. The following are the reasons of not conducting the workshop before the deadline;

- Collection of PPs/PRs and execution of SPAS took time, and there was no time to conduct the workshop before the submission deadline.
- Budget adjustment before submission of PIP list to MPI is still not common. All projects that are submitted from sector departments and districts are compiled in the PIP list submitted to MPI without prioritization and selection of projects. Therefore, CompAss is not conducted before the
- Prioritization of PIP projects were generally done by sector departments, therefore DPI is still not fully involved in the process. There are meetings with sector departments, but CompAss method is not used.
- DPI staffs are not clear about their roles in the CompAss workshop, therefore not confident whether a proper workshop can be held.

PCAP2 must further explain the importance of conducting CompAss workshops before submitting the PIP list to MPI, to DPI and sector departments. Additional training sessions may be necessary to gain proper understanding of roles for both DPI and sector departments.

4) PIP Budget Request and Future Indication of PIP Budget Ceiling

Oudomxay and Luang Prabang Provinces submitted the PIP budget request to MPI with a reduced amount as compared to the original request from sector department and districts. However, the amount still overwhelms this year's budget amount, which will result to further reduction in the negotiation process. The reasons for this can be estimated as follows;

- There is no clear guideline of the PIP budget ceiling. Oudomxay reduced their budget based on an oral instruction from MPI, which indicated that the budget amount should be 115-120% of this year's budget.
- The past guidelines are not indicated by province, rather a common rate applied to all. Therefore, there is unfairness in the distribution in amount, to provinces which receive smaller budget amount.
- The final budget ceiling is announced after provinces submit their first draft. Therefore, there is no reason for provinces to reduce their budget amount before this announcement.

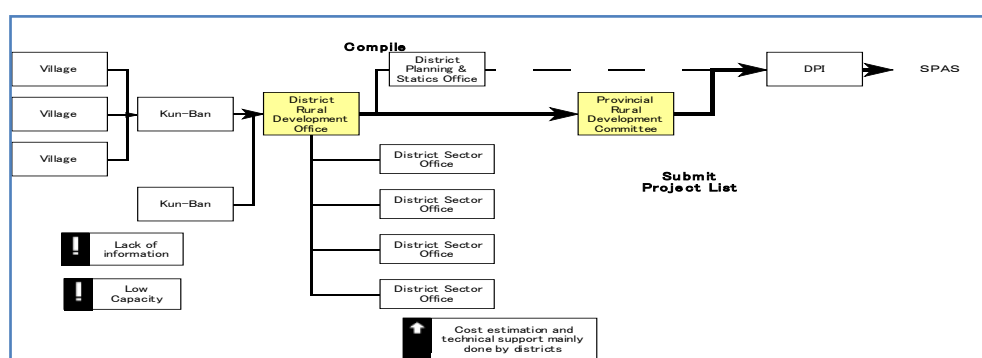
PCAP2 plans to recommend MPI to announce rough PIP budget allocation by each province, to each province before the submission of the PIP list. This will avoid confusion within provinces, and submit a prioritized PIP list to MPI for constructive discussions during the

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

budget negotiations among the provinces and MPI. It is further needed to develop a proper process that DPI can follow after receiving the allocation.

5) District-Level PIP Management Situation

Oudomxay and Sanyabouly Provinces are applying the newly established Kum-ban rural development scheme. This enables PIP to reach villages and kum-ban levels based on their needs. This “rural development route” is expected to be utilized in other provinces, and the newly established PRDO in the provincial level and DRDO in the district level need to upgrade its capacities to cope with this route. The following figure indicates the flow of work in Oudomxay Province.



Although the budget source is said to be under PIP, the budget for Kum-ban development is not added to the total PIP budget request. PCAP2 needs to clarify the budget source.

6) Capacity Development and Training Approaches

Provincial PIP Management Training was conducted in Luang Prabang and Sanyabouly Provinces. The training gained certain favorable reception, and further requests were made from all three provinces to extend the training to other staffs, and to district levels. The following are the comments and request for further improvement of the training;

- More training (contents) on writing PPs and PRs to sector department and district staffs are needed.
- Training to district levels, based on the current capacity of the staff is needed.
- Feedback and answers on the training sometimes differ depending on the trainer (from MPI). Further capacity development of trainers, along with standardization of training contents and Q&A replies are needed.

OJT was conducted in all three provinces. Since the period of OJT was relatively early in the process, and submission of PPs/PRs were late, the training concentrated on providing technical guidance on how to write PPs/PRs. It was suggested that the OJT sessions be

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

conducted at the beginning of March when project assessment is conducted, or mid-March when CompAss workshop would be scheduled.

7) Follow-Up Activities

Based on the studies, PCAP2 will further study and make developments in the following topics;

Submission of PPs/PRs: PCAP2 will study on how to improve the submission of PPs and PRs from sector organizations and districts before the deadline. This includes the following approaches;

- Standardized PIP budget process including a clear announcement of the reporting deadline through DPI.
- Further training for proposal and report writing to sector department staffs. Development of materials by including caseworks etc.
- Intensive explanation of the importance in monitoring ongoing projects and providing PRs.
- Feedback of reporting results to the Decision Makers including the governor (submission ratio of report by sector department).

Absolute Assessment through SPAS: PCAP2 will study on how to further improve the ratio of project assessment conducted by DPI. This included the following approaches;

- Conduct meta-evaluation of SPAS results to check the quality of contents.
- Explanation of the importance of project absolute assessment to sector department and district staffs and Decision Makers.
- Further training for project assessment to DPI staffs. Improvement of materials in Handbook by including caseworks etc.
- Feedback of SPAS results to the Decision Makers including the Governor.

Comparative Assessment: PCAP2 must further explain the importance of CompAss to DPI and sector departments. This includes the following approaches;

- Further improve the CompAss method by including PIP budget allocation targets, sector priorities and measures for including ODA counterpart funds as criteria
- Explanation of the importance of CompAss involving DPI, to sector department staffs and Decision Makers.
- Further training for CompAss, including guidance on how to moderate such workshops. Improvement of materials in Handbooks.

PIP Budget Ceiling Announcement and Budget Request: PCAP2 is currently developing the methods and process for sound PIP project financial management and announcement of a rough PIP budget ceiling to provinces. Through this study trip, we confirmed the importance of these two approaches, and will continue its development. Procedure towards the PIP

Appendix 3: OJT Follow-UP Report

budget request will also be further studied, including the ideal deadline of submitting the PIP list from provinces to MPI.

PIP Rural Development Route and District-Level PIP Management: PCAP2 intends to support this new PIP budget request route. However, studies on the Prime minister instruction 09, which is said to be on Kum-ban management, and further discussions between MPI/PCAP2 and the Rural Development Department, Prime Minister's Office are needed, in order to newly align the PIP management process involving PRDO and DRDO.

Technical Promotion Projects: MPI/PCAP2 will discuss with MOF on how to smoothly shift TP projects, including proposals to utilize PP sheets and SPAS formats that PCAP2 have developed.

Environmental Certificates: MPI/PCAP2 will closely discuss with WERA, PMO on the issuance of environmental certificates to PIP projects, including its procedures and fees. Consideration of a environment follow-up fund within the project cost, or an environment protection portion in the PIP budget can be suggested.

I: Report on Workshop of Meta-Evaluation & Training Evaluation in Vientiane Capital DPI
--

Course/Module:	Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop
Date/ Duration:	May 28 th to 29 th 2009 at MPI Training Center.
Trainer's Team:	5 officials from MPI-DOE.
PCAP2:	Tomoe TAIRA and Douangchay GNANONG (PCAP2's staff).

I. Objectives of the Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop

1. To share the actual procedures for requesting FY2009/10 PIP budget.
2. To conduct Meta-Evaluation of individual PIP projects requested.
3. To share the usefulness of the PIP management training held in 2008.

II. Preparation for the Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop

1. Discussion with the counterparts in order to set up the team, schedule, and contents of Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop.
2. Materials: Questionnaires for the training evaluation, Presentation Handouts, Meta-Evaluation Format of (1) Assessment Category and (2) General Status.
3. Logistic Arrangement (Initiated by MPI-DOE).

III. Main Activities of the Workshop

1. Presentation by MPI-DOE on objectives of Meta-Evaluation and Training Evaluation.
2. Conducting Meta-Evaluation and Training Evaluation and Wrapping-up the results by group.
3. Conducting training evaluation by questionnaires and interview survey.

IV. Team Members and Agenda

Team members of Meta-evaluation studies at Vientiane Capital DPI are as follows

Team Members:

1. Mr. Phisit SANASYSAN (Team Leader), MPI-DOE.
2. Mr. Viengkham LATSACHANH, MPI-DOE.
3. Mr. Sonephetvongsy BOUPHOMMEUANG, MPI-DOE.
4. Ms. Malyvanh PHOMSEANGSAVANH, MPI-DOE (PCAP2 coordinator).
5. Mr. Bouakeo SIPHONSAY, MPI-DOE (PCAP2 coordinator).

Workshop Agenda			
1 st Day		2 nd Day	
9:00-10:25	➤ Courtesy call and interview with DPI director	8:30-12:00	➤ Continue conducting meta-evaluation
11:00-12:00	➤ Courtesy call and interview		➤ Conduct interview on training evaluation
12:00-13:30	Lunch Break	12:00-13:30	Lunch Break
13:30-13:45	➤ Opening Remarks by DPI director	13:30-14:30	➤ Wrap-up results of meta-evaluation by group
13:45-14:00	➤ Presentation by MPI on workshop objectives		➤ Conduct interview on training evaluation
14:00-14:45	➤ Continue meta-evaluation by group		
14:45-15:00	Coffee Break	14:30-14:45	Coffee Break
15:00-16:00	➤ Continue conducting meta-evaluation	14:45-15:45	➤ Workshop on results of meta-evaluation
	➤ Training evaluation by questionnaires	15:45-16:00	➤ Closing Remarks by DPI director

V. Results of Workshop

V-1. Actual procedures for requesting FY2009/10 PIP budget

Actual schedule of PIP budget request proceedings is indicated as table below

No.	Procedures	Deadline/ Planned Date	Actual Date
1	Submission of project proposals/ progress reports to DPI	Deadline: Feb 20 (Announcement)	Mar 2
2	Compilation of SPAS results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 9-10	Mar 5
3	The first submission of PIP budget request from DPI to MPI	Deadline: Mar 20 (Guideline 300/MPI)	Mar 15
4	Compilation of comp. assessment results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 25-27	Mar 20
5	Approval of PIP budget request by Governor	Planned date: Mar30-Apr 7	Mar 30
6	Submission of PIP budget request from DPI to MPI		Apr 30

➤ Main findings

- The actual submission of project proposals and progress reports from POs to DPI delayed 10 days.
- The 1st submission was made before the deadline of Mar 20, 2009.
- It could be said that compilation of comparative assessment into PIP budget and approval of the request by Governor was made after the 1st submission of the budget request in Mar 15.

➤ Main issues to be considered

- After the announcement made by DPI was sent to all organizations concerned, DPI should have the way to follow up that announcement such as by telephone and other.

V-2. The number of assessed projects in the budget request

Number of projects assessed by SPAS is explained as following table

The Number of PIP Projects (T1, T2, T3)	Proposed from sectors to DPI	Assessed by DPI	Requested from DPI to MPI *	Assessed projects in the request	Not assessed & F projects in the request
Total:	604 (440,319 Mil. Kip)	93	345 (75,000 Mil. Kip)	44	3+301=304

Remark: * Information given in the workshop.

Details of assessments results are as follows

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	0	0	0	0	0	32	32
On-going	0	0	0	0	0	0	86	86
New Project	19	16	6	0	3	44	34	78
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	149	149
Total	19	16	6	0	3	44	301	345

➤ **Main findings**

- According to information given by MPI-DOP-Division of Regional Development Planning, the 1st draft of PIP budget request mentioned on above table was composed of a total of 622 projects.
- The actual PIP budget requested from DPI to MPI was composed of a total of 345 projects. In there, only new projects were assessed.
- There were 44 out of 78 new projects assessed covering 56%.
- The projects rated F because the necessary documents of these projects were not attached with the project proposal.
- Some new projects related to the 25th SEA Games didn't conduct the absolute assessment yet because the attached documents will be submitted later.

➤ **Main issues to be considered.**

- The efficient method for assessment of on-going projects should be reconsidered among related organizations.
- DPI should try to get the attached documents to F projects and the projects were not assessed yet. Then, re-conduct the assessment to those projects.

V-3. Results of Meta-Evaluation of individual PIP type 3 projects requested

Results of Meta-Evaluation format (1) and (2) are explained as table below

Group	Project's Name	A	B	C	D	Total
1	Construction of drainage from Ban Phosy, Nahea, Dongnathong to Hongdeang (Const.)	1				
2	Surveying-designing for construction of cultural club (Const.)	1				
3	Industrial development zoning at Khoksaat (Const.)		1			
4	Construction of accommodation for single police (Const.)	1				
5	Sanitary construction at Thanasa (Const.)	1				
6	Primary school construction at Khokvilay, Muang Saythany (Const.)	1				
7	Construction of road behind the Vientiane Upper Secondary School. (Const.)	1				
8	Road rehabilitation at Noonbouathong village (Const.)	1				
9	Construction of drug free village (Const.)		1			
10	Justice office construction for Muang Pakngeum (Const.)	1				
11	Construction of military office at Muang Sikhottabong (Const.)	1				
12	Accommodation construction project for security guard at Financial Sector. (Const.)	1				
13	Construction of drainage at Ban Nahea, Viengsavanh, Noonsavang and Sysomseun (Const.)	1				
14	Repairing of Phoxay Primary School. (Const.)		1			
15	Construction of kitchen house, toilet, water storage place and electrical house for disable center. (Const.)				1	
16	Construction of road from Ban Dongnasokyay-Dungyay (Const.)		1			

Appendix 4: Report on Meta-Evaluation and Training Evaluation

17	Construction of police office (Const.)	1				
18	Construction of road from Chokkham to Khamngoi (Const.)	1				
19	Construction of secondary school at Meuang Pakngum (Const.)	1				
Total		14	4	0	1	19

➤ **Main findings**

- There were 18 out of 19 working groups had good assessment skills.
- According to the comments written in the Meta-evaluation sheet, only one working group was still confused between the project assessed by SPAS and evaluated by Meta-evaluation.
- It was the first time to conduct the Meta-evaluation studies workshop at Vientiane Capital DPI, the coordination between the team and DPI Vientiane Capital in order to prepare the projects assessed in advance to use in the workshop was not good enough.

➤ **Main issues to be considered**

- The team should find a better way and give the examples in order to explain the different between the project assessed by SPAS and evaluated by Meta-evaluation to the working group was not understood yet.
- The team should confirm DPI to prepare the projects assessed in advance, explain to DPI understand that if the workshop doesn't have the projects assessed, the Meta-evaluation sheets cannot work.

V-4. Results of the usefulness of the PIP management training held in 2008

➤ **Usefulness of the training**

- According to the summary session, the organizations concerned had the consensus formats to write the project proposals and progress reports.
- Participants trained by the course held in 2008 could write the project proposal and progress reports.
- Participants participated in the training could assess the projects in basic step.

➤ **Needs for follow-up**

- The next PIP management course should add more time.
- MPI/PCAP should invite 3 or 4 staffs from each organization to participate in the training course because if a trained staff changed the position, no staff can conduct the assessment.
- Participants trained by MPI/PCAP need concrete example or case study for each of the project proposal, progress report and completion report

II: Report on Workshop of Meta-Evaluation & Training Evaluation in Salavan Provincial DPI

Course/ Module:	Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop
Date/ Duration:	June 2 nd to 3 rd 2009 at Meeting Room of Salavan Provincial DPI.
Trainer's Team:	4 officials from MPI-DOE.
PCAP2:	Tomoe TAIRA; Douangchay GNANONG (PCAP2's staff).

I. Objectives ***II. Preparation *****III. Main Activities*****IV. Agenda*** *see the report in the Vientiane Capital DPI**IV. Team Members and Agenda****Team Members:**

1. Mr. Phoukong BANNAVONG, DDG of DOE-MPI.
2. Mr. Phisit SANASYSAN (Team Leader), MPI-DOE.
3. Mr. Phoutpasong SEANGDALAVONG, MPI-DOE.
4. Mr. Bouakeo SIPHONSAY, MPI-DOE (PCAP2 coordinator).

V. Results of Workshop**V-1. Actual procedures for requesting FY2009/10 PIP budget**

Actual schedule of PIP budget request proceedings is indicated as table below

No.	Procedures	Deadline/ Planned Date	Actual Date
1	Submission of project proposals/ progress reports to DPI	Deadline: Feb 20 (Announcement)	Feb 20
2	Compilation of SPAS results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 12-13	Mar 15
3	The first submission of PIP budget request from DPI to MPI	Deadline: Mar 20(Guideline 300/MPI)	Mar 24
4	Compilation of comparative assessment results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 23-24	Mar 25
5	Approval of PIP budget request by Governor	Planned date: Mar30-Apr 7	Apr 15
6	Submission of PIP budget request from DPI to MPI		Apr 25

➤ Main findings

- The actual submission of project proposals and progress reports from POs to DPI was submitted directly on Feb 20.
- The 1st submission of PIP budget request from DPI to MPI was delayed 4 days when compared with the deadline of Mar 20, 2009.
- It could be observed that compilation of comparative assessment into PIP budget and approval of the request by Governor was made after the 1st submission of the budget request in Mar 24.

➤ Main issues to be considered

- The 1st submission of PIP budget request was modified because DPI knew only the PIP budget of FY2009/2010 will be increased about 20% of FY2008/09. DPI didn't know the accurate budget ceiling

that will be allocated by MPI.

V-2. The number of assessed projects in the budget request

Number of projects assessed by SPAS is indicated as table below

The Number of PIP Projects (T1, T2, T3)	Proposed from sectors to DPI	Assessed by DPI	Requested from DPI to MPI *	Assessed projects in the request	Not assessed & F projects in the request
Total:	91 (57,506 Mil. Kip)	69	87 (20,730 Mil. Kip)	22	65

Remarks: * Information given in the workshop

Details of assessments results proposed by POs to DPI are as follows

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	1	0	0	0	1	1	2
On-going	2	5	2	0	0	9	0	9
New Project	6	21	28	4	0	59	4	63
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	17	17
Total	8	27	30	4	0	69	22	91

(Data source: DPI-DOE)

Details of assessment results submitted by DPI to MPI are as follows

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	0	0	0	0	0	11	11
On-going	2	2	1	0	0	5	30	35
New Project	3	5	7	2	0	17	7	24
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	17	17
Total	5	7	8	2	0	22	65	87

(Data source: DPI-DOP)

➤ Findings

- According to information given by MPI-DOP-Division of Regional Development Planning, the 1st submission of PIP budget request mentioned on above table was composed of a total of 98 projects.
- The actual PIP budget requested from DPI to MPI was composed of a total of 87 projects. DPI conducted the absolute assessment for both new and on-going projects.
- There were 5 out of 35 on-going projects assessed covering 14%.
- There were 17 out of 24 new projects assessed covering 70%.

➤ Main issues to be considered

- The results of absolute and comparative assessment were recorded in separate forms in DPI-DOE.

V-3. Results of type 3 projects reassessed through SPAS

The projects reassessed were used the same 5 criteria. The comparisons between before and after is described

Appendix 4: Report on Meta-Evaluation and Training Evaluation

as table below

Group	Project Name	Assessed by SPAS(Before:I-3)							Assessed by SPAS (After:I-6)							
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating	
1	Namsan Bridge Construction Project at Ban Namsan, Muang Laongam	1														
		64	15	25	14	18	136	C	49	20	32	14	24	139	C	

Group	Project Name	Assessed by SPAS(Before:I-3)							Assessed by SPAS (After:I-6)						
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating
2	Houai Ampong Weir Irrigation Construction Project at Ban Talotay	1													
		78	40	24	10	16	168	C	76	50	36	15	24	200	A

Group	Project Name	Assessed by SPAS (Before:I-3)							Assessed by SPAS (After:I-6)						
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating
3	Houai Tapung Bridge Construction Project at Ban Nondeua, Meuang Laongam	1													
		64	15	25	14	18	136	C	67	4	40	14	10	135	C

Group	Project Name	Assessed by SPAS (Before: II-3)							Assessed by SPAS (After: II-4)						
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating
4	Khonsai Primary School Construction at Meuang Vapee ,on-going	1													
		20	20	28	20	12	102	A	20	16	24	19	9	88	B

Group	Project Name	Assessed by SPAS (Before:I-3)							Assessed by SPAS (After:I-6)						
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating
5	Surveying-Designing for Expansion of Electrical Power Line at Ban Phoukasy and Lakhonpha	1													
		74	8	31	16	24	153	C	71	45	35	7	23	181	B

Group	Project Name	Assessed by SPAS (Before: II-3)							Assessed by SPAS (After: II-4)						
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating
6	Construction of Sanitary Office at Meuang Taoi ,on-going	1													
		19	17	18	17	9	80	B	18	16	20	16	8	76	B

Group	Project Name	Assessed by SPAS (Before:I-3)							Assessed by SPAS (After:I-6)						
		1	2	3	4	5	Total	Rating	1	2	3	4	5	Total	Rating
7	Construction of Primary School at Ban Kokmuang Meuang Tumlan.	63	30	18	18	13	133	C	67	35	26	18	21	167	B

Remarks: 1: Relevance. 2: Effectiveness. 3: Efficiency. 4: Impact. 5: Sustainability. **Before:** Project assessed by DPI. **After:** Project reassessed by working group in the workshop.

➤ **Main findings**

- POs used the old format to write the project proposal.
- Type 3 project, if the action plan had been written in the environmental and social topic. The assessor should provide full scores to this topic.
- A project proposal submitted from the district, perhaps this project will be included in two PIP project list as 1) Provincial PIP project list; and 2) Ministry PIP project list. PO should choose only one way which way is the best to include his/her project.

➤ **Main issues to be considered**

- The new formats updated should be announced by MPI to all provinces, ministries and organizations concerned.
- The results of project assessed and not assessed should be feed back to POs by DPI.

V-4. Results of the usefulness of the PIP management training held in 2007.

➤ **Usefulness of the training.**

- The formats developed by MPI/PCAP were used to write with the real project by organizations concerned.
- DPI Handbook has been used in the actual work. The staffs trained understood PIP project management procedures.
- In future, PIP projects will be implemented with high effectiveness and efficiency.

➤ **Needs for follow-up.**

- PIP management training course had limited time.
- PIP management training course should be conducted by MPI/PCAP again.

III: Report on Workshop of Meta-Evaluation & Training Evaluation in Sekong Provincial DPI

Course/ Module:	Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop
Date/ Duration:	June 4 th to 5 th at Sekong Provincial DPI Meeting Room.
Trainer's Team:	4 officials from MPI-DOE (Same team with Salavan workshop).
PCAP2:	Tomoe TAIRA; Douangchay GNANONG (PCAP2's staff).

I. Objectives, II. Preparation, III. Main Activities and IV. Agenda* *see the report in the Vientiane Capital DPI

V. Results of Workshop**V-1. Actual procedures for requesting FY2009/10 PIP budget**

Actual schedule of PIP budget request proceedings is indicated as table below

No.	Procedures	Deadline/ Planned Date	Actual Date
1	Submission of project proposals/ progress reports to DPI	Deadline: Feb 20 (Announcement)	Feb 25
2	Compilation of SPAS results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 12-13	Mar 10
3	The first submission of PIP budget request from DPI to MPI	Deadline: Mar 20 (Guideline 300/MPI)	Mar 24
4	Compilation of comparative assessment results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 23-24	Mar 27
5	Approval of PIP budget request by Governor	Planned date: Mar30-Apr 7	Mar 30
6	Submission of PIP budget request from DPI to MPI		Apr 9

➤ Main findings

- The actual submission of project proposals and progress reports from POs to DPI delayed 5 days because POs waited to have the real unit prices approved by Governor to attach with the project documents.
- The 1st submission was delayed 4 days when compared with the deadline of Mar 20, 2009.

➤ Main issues to be considered.

- The 1st submission already submitted but the officials were still improved the PIP budget because they knew only the budget for FY2009/10 will be increased about 20% of FY2008/09.

V-2. The number of assessed projects in the budget request

Number of projects assessed by SPAS is explained as following table Remark:* Information given in the workshop

The Number of PIP Projects (T1, T2, T3)	Proposed from sectors to DPI	Assessed by DPI	Requested from DPI to MPI *	Assessed projects in the request	Not assessed & F projects in the request
Total:	197 (155,681 Mil. Kip)	161	178 (157,082 Mil. Kip)	160	18

Please see the assessment result as table below.

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	0	0	0	0	0	6	6
On-going	0	0	0	0	0	0	12	12
New Project	38	72	50	0	0	160	0	160
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	0	0
Total	38	72	50	0	0	160	18	178

➤ **Main findings**

- According to information given by MPI-DOP-Division of Regional Development Planning, the 1st draft of PIP budget request mentioned on above table was consisted of a total of 98 projects.
- The actual PIP budget requested from DPI to MPI was composed of a total of 178 projects.
- Only all new projects were assessed covering 100%.

➤ **Main issues to be considered.**

- The efficient methods for on-going projects should be reconsidered among related organizations.

V-3. Results of Meta-Evaluation of individual PIP type 3 projects requested

Results of Meta-evaluation by using of (1) Assessment Category and (2) General Status are explained as table below

Group	Project's Name	SPAS		Meta (1)		Meta(2)	
		Scores	Rating	Scores	Rating	Scores	Rating
1	Road rehabilitation project from Sekong-Dakcheung	142	C	125	B	125	A
2	Urban planning at Ban Phiamai zone in Lamam District	171	A	138	A	122	A
3	Provincial museum decoration project	157	B	133	B	130	A
4	Commercial office construction project	184	B	129	B	121	A
5	Labor and social welfare office construction project	210	A	139	A	137	A
6	Provincial police office construction project	222	A	119	B	119	B
7	Provincial justice office construction project	222	A	124	B	125	A

➤ **Main findings**

- It was the first time to conduct Meta-evaluation studies workshop in Sekong province, results of working group were very good because the Meta-studies team had experience and understood well on how to facilitate the working group.

➤ **Main issues to be considered**

- Participants about 95% of this workshop were the same old participants participated in the PIP management course held in 2008.

V-4. Results of the usefulness of the PIP management training held in 2008

➤ **Usefulness of the training**

- The districts copied all formats of MPI/PCAP from Cabinet Office in Provincial Administration Office.
- After the course held in 2008, Participants participated were able to write the project proposal and can assess the projects in basic step.

➤ **Needs for follow-up**

- Many projects were submitted by the district level, MPI/PCAP2 should conduct the PIP management course to the district level.

IV: Report on Workshop of Meta-Evaluation & Training Evaluation in Khammoane Provincial DPI
--

Course/ Module:	Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop
Date/ Duration:	July 9 th to 10 th 2009 at Meeting Room of Khammuan Provincial DPI.
Trainer's Team:	3 officials from MPI-DOE.
PCAP2:	Tomoe TAIRA ; Douangchay GNANONG (PCAP2's staff).

I. Objectives, II. Preparation, III. Main Activities and IV. Agenda* *see the report in the Vientiane Capital DPI

IV. Team Members

Team Member:

1. Mr. Phisit SANASYSAN (Team Leader), MPI-DOE.
2. Mr. Phoutpasong SEANGDALAVONG, MPI-DOE.
3. Ms. Malyvanh PHOMSEANGSAVANH, MPI-DOE (PCAP2 coordinator).

V. Results of Workshop

V-1. Actual procedures for requesting FY2009/10 PIP budget

Actual schedule of PIP budget request proceedings is indicated as table below

No.	Procedures	Deadline/ Planned Date	Actual Date
1	Submission of project proposals/ progress reports to DPI	Deadline: Feb 20 (by telephone)	Feb 25
2	The first submission of PIP budget request from DPI to MPI	Deadline: Mar 20 (Guideline 300/MPI)	Mar 24
3	Compilation of SPAS results into PIP budget request by DPI	Planned date: Mar 9-10	Mar 30
4	Meeting on prioritized projects into PIP budget request *	Planned date: Mar 25-27	May 7
5	Approval of PIP budget request by Governor	Planned date: Mar30-Apr 7	May 7
6	Submission of PIP budget request from DPI to MPI		May 13

Remark: * Meeting on prioritized projects held by Cabinet Office in Provincial Administration Office.

➤ **Main findings**

- DPI didn't make the announcement to POs but the deadline of submission was informed by telephone.
- The actual submission of project proposals and progress reports from POs to DPI delayed 5 days.
- The 1st submission was delayed 4 days after the deadline of Mar 20, 2009.
- DPI didn't conduct the comparative assessment but the projects were prioritized into PIP budget request by the meeting held by Cabinet Office under Provincial Administration Office on May 7, 2009.
- It could be observed that compilation of SPAS results, priority of projects into PIP budget request by meeting and approval of the request by Governor was made after the 1st submission of the budget in Mar 24.

➤ **Main issues to be considered**

- The comparative assessment workshop should be conducted because it is convenient to prioritize projects into PIP budget request based on the prioritized programs.

V-2. The number of assessed projects in the budget request

Number of projects assessed by SPAS is explained as following table:

The Number of PIP Projects (T1, T2, T3)	Proposed from sectors to DPI	Assessed by DPI	Requested from DPI to MPI *	Assessed projects in the request	Not assessed & F projects in the request
Total:	184 (109,138 Mil. Kip)	105	129 (35,000 Mil. Kip)	43	86+4=90

Remark: * Information given in the workshop.

Second Plan (reserved plan)

The Number of PIP Projects (T1, T2, T3)	Proposed from sectors to DPI	Assessed by DPI	Requested from DPI to MPI *	Assessed projects in the request	Not assessed & F projects in the request
Total:	184 (109,138 Mil. Kip)	105	134 (23,300 Mil. Kip)	19	115

Remark: * Information given in the workshop.

Details of assessments results of proposed projects from sectors to DPI are as follows

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	4	2	0	0	6	1	7
On-going	7	5	1	1	0	14	45	59
New Project	3	42	32	3	5	85	33	118
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	0	0
Total	10	51	35	4	5	105	79	184

(Data source: DPI-DOE)

Details of assessments results of the first PIP budget plan given by the workshop are as follows

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	0	0	0	0	0	1	1
On-going	7	5	1	1	0	14	47	61
New Project	3	9	11	2	4	29	13	42
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	25	25
Total	10	14	12	3	4	43	86	129

Details of assessments results of the reserved PIP budget plan given by the workshop are as follows

Type of Projects	Assessed Projects						N/A	Grand Total
	A	B	C	D	F	Total		
CP	0	0	0	0	0	0	2	2
On-going	2	4	1	1	0	8	46	54
New Project	1	8	2	0	0	11	46	57
Debt	-----	-----	-----	-----	-----	0	21	21
Total	3	12	3	1	0	19	115	134

(Data source: DPI-DOP)

➤ Main findings

- According to information given by MPI-DOP-Division of Regional Development Planning, the first draft of PIP budget request mentioned on above table was composed of a total of 98 projects.
- The absolute assessment results were recorded in separate forms in Evaluation Division. No comparative

assessment. PIP list with only some but not all absolute assessment results.

- The number of projects is increased from 98 to 129 or 134 based on the discussion results among provincial authorities conducted by Provincial Cabinet Office in Provincial Administration Office.
- There were two PIP budget plan given by the workshop. The first PIP budget plan was consisted of a total of 129 projects with the total amount of 35,000 million kip and the second (reserved) PIP budget plan was consisted of a total of 134 projects with the total amount of 23,300 million kip.
- In the first plan, there were 14 out of 61 on-going projects assessed covering about 23%; and there were 29 out of 42 new projects assessed covering 69%.
- In the second plan, there were 8 out of 54 on-going projects assessed covering about 15%; and there were 11 out of 57 new projects assessed covering 19%.

➤ **Main issues to be considered**

- For convenience to prioritize projects based on prioritized programs, DPI should conduct the comparative assessment workshop. Then, their results should be included in PIP budget request.

V-3. Results of Met-evaluation of individual PIP type 3 projects requested

Results of Meta-evaluation of individual PIP projects selected are indicated as table below

Meta-evaluation Format	Group 1		Group 2		Group 3		Group 4		Group 5	
(1) By Assessment Category	106	C	124	B	114	B	113	B	129	B
(2) By General Status	107	B	100	B	122	B	87	C	128	A

➤ **Main findings**

- The project in each working group was done by Meta-evaluation format (1) and (2).
- In 2 out of 5 working groups, each group had a new staff (first time participated in the training course held by MPI/PCAP2). The outputs of these two working groups written in Meta-evaluation formats, some were SPAS and some were Meta-evaluation results.
- Some working groups had finished before timing.

➤ **Main issues to be considered.**

- Trainers should closely explain to the new staffs about the different between the assessment through SPAS and evaluation by Meta-evaluation.
- The formats were done before timing. The trainers should read all the outputs and exchange the experiences to each other e.g. why comments and/or scores provided like that.

V-4. Results of the usefulness of the PIP management training held in 2007 (Same comments with Vientiane Capital and Salavan Report).

V: Report on Workshop of Meta-Evaluation & Training Evaluation for Ministries in Vientiane Capital

Course/ Module:	Meta-Evaluation and Training Evaluation Workshop
Date/ Duration:	July 23 rd to 24 th 2009 at ICTC.
Trainer's Team:	7 officials from MPI-DOE only.
PCAP2:	Tomoe TAIRA ; Douangchay GNANONG (PCAP2's staff).

I. Objectives, II. Preparation, III. Main Activities and IV. Agenda* *see the report in the Vientiane Capital DPI

IV. Team Members and Agenda

Team Member:	
1. Mr. Phetamphone Houmboun (Team Leader)	2. Mr. Phisit SANASYSAN
3. Mr. Vilaphanh DUANGTHONGKHAM	4. Mr. Viengkham LATSACHANH
5. Mr. Phoutpasong SEANGDALAVONG	6. Ms. Malyvanh PHOMSEANGSAVANH (PCAP2 coordinator)
7. Mr. Bouakheo SYPHONXAY (PCAP2 coordinator)	

Participants: The numbers of participants are explained as follows

No. of Ministries/Organizations	Total of Participants	Females
13 Ministries	37	6
23 Organizations	34	9
Total:	71	15

V. Results of Workshop**V-1. Actual procedures for requesting FY2009/10 PIP budget**

According to information given by MPI-DOP-Division of Economic Development Plan and Division of Social Development Plan, the actual of first submission of 8 main ministries and some organizations to MPI are described as table below:

Actual date of the first submission of PIP budget request from 8 main ministries and some organizations

No.	Procedure	Date	Economic Sectors				Social Sectors				Others					
			MOAF	MOPW	MOIC	MOEM	MOE	MOH	MOIC	MOLS	WREA	Post.	Land	Justice	Tech.	Museum
5	*Submission of budget request from Planning Dept. in charge to MPI	**Actual date of the submission	10/4	12/5	29/4	12/2	30/3	18/3	19/3	27/3	20/3	2/2	20/3	27/3	23/3	20/3

* Submission deadline of FY2009-10 budget request to MPI is Mar 20, 2009 as announced in the Guideline no.300/MPI dated Feb 2009.

** Submission dates later than the announcement, Mar 20, 2009, are highlighted

Source: MPI-DOP-Division of Economic Development Plan and Division of Social Development Plan

➤ **Main issues to be considered**

- The division in charge in economic and social sector should coordinate with the MPI Office in order to follow up the announcement or guideline announced to ministries and organizations concerned.
- The division in charge should motivate the ministries and equivalent organizations to submit PIP budget request based on the deadline of the announcement or guideline.

V-2. Results of Met-evaluation of individual PIP type 3 projects requested

Results of Meta-evaluation of individual PIP projects are indicated as table below

Group No.	Project's Name	Scores	Meta(1)	Scores	Meta(2)
1	Construction of Financial Office, Information Room and Wall for MOFA	143	A		

Appendix 4: Report on Meta-Evaluation and Training Evaluation

3	FM Equipment Purchasing for Radio Station	85	D		
4	Place Improvement for Nagar Fire Ball Looking	121	B		
5	Promotion and Development of Agricultural Products	145	A		
6	Survey and Improvement of Walking Place for Leader Caves	113	B		
7	Survey and Improvement of Walking Place for Leader Caves	103	C		
8	Survey and Improvement of Walking Place for Leader Caves	113	B		
9	Public Newspaper Improvement	133	B		
11	Construction of Namphouk Irrigation at Tuahay Village, Muang Sangthong	127	B		
12	Construction of Namphouk Irrigation at Tuahay Village, Muang Sangthong	154	A		
13	Survey and Improvement of Walking Place for Leader Caves	121	B		
14	FM Equipment Purchasing for Radio Station	117	B		
16	Place Improvement for Nagar Fire Ball Looking	123	A	126	A

Remarks: Didn't have group 2; 10 and 15.

➤ **Main findings**

- Only 1 out of 13 working groups was done by Meta-format (1) & (2) because this group used their own project assessed.
- 12 working groups could finish only Meta-format (1) because these groups were practiced the projects prepared by the trainers' team, they didn't bring their own project assessed.

➤ **Main issues to be considered**

- The team should find the better way in order to motivate the Ministries and Organizations to bring their own projects assessed and PIP project list to practice in the workshop.

V-3. Results of the usefulness of the PIP management training held in January 2009.

➤ **Usefulness of the training**

- According to summary session, the Ministries/ Organizations had consensus documents developed by MPI/PCAP such as SPAS/SPES, Project Proposal, Progress Report and Completion Report formats.
- Some Ministries/ Organizations had conducted the assessment by using knowledge obtained from PIP management training course held in January 2009.
- Some staffs trained by MPI/PCAP2 under Planning Departments in charge were moved to new position so nobody can make the assessment of projects proposed.

➤ **Needs for follow-up**

- Before moving to the new position, staff trained by MPI/PCAP should conduct the training course to the new comers.
- Ministries and Organizations should conduct the absolute assessment and comparative assessment to all projects submitted. Then, their results should be included into PIP project list submitted from Planning Department in charge to MPI.

List of Key Informant Interviewees on Meta-Evaluation and Training Evaluation

No.	Name	Position	Organization	Province	Time
1.	Mr. Bounpone SISOULATH	Director General of Vientiane Capital DPI	Vientiane Capital DPI	Vientiane Capital	28/5/2009. 9:25-10:25 AM.
2.	Mr. Inpeang Mr. Amkha	Head of Administrative Office. Deputy Head of Administrative Office	Department of Public Works and transportation	Vientiane Capital	28/5/2009. 11:00-12:05 AM.
3.	Mr. Bounthiem PHOMMASATHIT	Vice Governor of Salavan Province	Provincial Administration Office	Salavan	2/6/2009. 11:00-12:00 AM.
4.	Mr. Bounmy CHITPANYA	Director General of Provincial Agriculture and Forestry Office	Provincial Agriculture and Forestry Office	Sekong	4/6/2009. 14:15-15:10 PM.
5.	Mr. Thavone PHOMMALAYLUN	Director General of Department of Education	Department of Education	Sekong	4/6/2009. 15:17-16:16 PM.
6.	Mr. Khammany MANKHAMSOUK	Deputy Director General of Cabinet Office	Provincial Administration Office	Khammuan	9/7/2009. 9:30-10:30 AM.
7.	Mr. Sihay KEOKAITHIN	Deputy Director General of Department of Education	Department of Education	Khammuan	9/7/2009. 11:00-12:00 AM.
8.	Mr. Daolay KEODUANGDEE	Deputy Director General of DPI	DPI	Khammuan	10/7/2009. 10:00-11:00 AM.



Lao People's Democratic Republic
Peace, Independence, Democracy, Unity, Prosperity

Manual For Public Investment Program (PIP) Project Management

Ministry of Planning and Investment
August, 2009



**Manual for PIP Project Management
(Version 2.0)**

Main Contents

Abbreviation

Preface

Section 0 General Background of the Manual

Section I Definition and Flow of PIP Management

Section II PIP Budget Management Method

Section III PIP Project Preparation for Project Owners

Section IV PIP Project Assessment and Evaluation

Section V Technical Approaches in PIP Management

Section VI Formats for PIP Project Management

Manual for PIP Project Management
Section I Definition and Flow of PIP Management
Contents

1. Definition of PIP	2
1.1 Definition of Program and Project in PIP	2
1.2 Definition of PIP	3
1.3 Classification of PIP Projects	3
1.4 Tasks of Organizations in PIP Management	4
1.5 Development Plans and PIP	8
1.6 Management of PIP as a Program and a Project	9
1.7 Definition of PIP Project Management	10
1.8 PIP Management and Decision Making Roles	13
2. ODA Project and National Contribution Funds	14
2.1 Definition of ODA	14
2.2 Classification of ODA	14
2.3 Prerequisite of ODA	15
2.4 Definition of ODA National Contribution Budget	15
2.5 Tasks of Organizations in ODA National Contribution Budget Management	15
3. Kum-Ban Development and PIP Projects	19
3.1 Definition of Villages and Kum-bans in Lao PDR	19
3.2 PIP Projects for Villages and Kum-bans	20
3.3 PIP Projects through Provincial Requests	24
3.4 Kum-ban Development Projects through NLRP	25
4. PIP Project Management Flow from the Project Perspective	26
4.1 PIP Project Management Flow	26
4.2 Project Planning	27
4.3 Project Monitoring for Implementation	30
4.4 Project Completion	33
4.5 Operation and Maintenance	35
5. PIP Project Management in the Annual Flow	38
5.1 PIP Management Annual Flow	38
5.2 Overview of PIP Management Process	38
6. Summarize	42
7. Approval	42
8. Feedback	43

Manual for PIP Project Management

Section II PIP Budget Management Method

Contents

1. Overview of PIP Budget Allocation and Financial Management Method	2
1.1. Objectives	2
1.2. Definition of “PIP budget Management”	2
1.3. Overview of PIP budget management process	2
2. Guidelines on PIP budget formulation.....	4
2.1. Overview and objectives of guidelines on PIP budget formulation	4
2.2. Contents of budget guidelines	5
3. PIP financial management method.....	9
3.1. Overview of PIP financial management method	9
3.2. Nationwide PIP financial analysis and budget planning by MPI-DOP.....	16
3.3. Provincial PIP financial analysis and budget planning by DPI	25

Manual for PIP Project Management (Version 2.0)
Section III PIP Project Preparation for Project Owners
Contents

1. Project Framework	2
1.1 Narrative Summary	3
(1) Project Purpose	3
(2) Overall Goal	4
(3) Outputs	5
(4) Activities	5
(5) Inputs	6
1.2 Project Indicators	7
(1) Objectively Verifiable Indicators	7
(2) Means of Verification	9
2. Project Proposal for New Projects	11
2.1 Project Proposals for Sector Projects (formats I-1, I-2, I-3, I-4)	13
2.2 Project Proposal for Revival Projects (Format I-5)	16
2.3 Project Proposal for Kum-ban Development Projects (Format I-6)	19
3. Progress Report for Ongoing Projects	23
3.1 Progress Reports for Sector Projects (II-1, II-2, II-3)	25
3.2 Progress Report for Kum-ban Development Projects (II-6)	28
3.3 Project Payment Process Report (II-7)	30
4. Project Completion Report	33

Manual for PIP Project Management

Section IV PIP Project Assessment and Evaluation

Contents

1. Project Evaluation in General	2
1.1. Evaluation in General Terms	2
1.2. The 5 Evaluation Criteria	2
2. Project Assessment and Evaluation	5
3. Absolute Assessment / Evaluation	5
3.1. Definition of Absolute Assessment and Evaluation	5
3.2. Absolute Assessment and Evaluation Forms	6
3.3. Absolute Assessment and Evaluation Methods	8
3.4 Evaluation of a Completed Project.....	14
4. Comparative Assessment.....	15
4.1. Definition of Comparative Assessment (CompAss)	15
4.2. Comparative Assessment Workshop	15
5. Comprehensive Results and Recommendations.....	26
5.1 Comprehensive Rating Results	26

Section V Technical Approaches in PIP Management

Section III explains the technical approaches that are required when planning, monitoring and evaluating a PIP project. Technical approaches; Economic / Financial analysis, social analysis and environmental analysis are important to PIP management, and expertise is required to fully understand these aspects. However, for all staff related to PIP management, it is necessary to understand at least the basic knowledge for these aspects.

Basic knowledge required for personnel involved in PIP management are introduced in this manual. By understanding these approaches in the level as described in this manual, it would be possible to understand the outline of analysis results that a person with expertise has compiled. In order to obtain knowledge as to a level that can commit the analysis by its own, it is recommended to study more deeply with specialized books and training.

Contents

V-1 Reference Material for Social Analysis

V-2 Reference Material for Environmental Analysis

V-3 Reference Material for Economic and Financial Analysis

Manual for PIP Project Management
Section VI Formats for PIP Project Management

Section VI provides sheets and formats that are utilized in PIP project management. The sheets and formats can be divided in 2 objectives; firstly application of PIP projects and its budget, and secondly assessment and evaluation of the PIP projects.

1. Project Proposal / Progress Report / Completion Report Formats

Application of PIP projects and its budget are done by the Project Owner. Details of application are indicated in *Section III*. The application form varies depending on the project type and its current status. There are 15 formats in total;

[PIP Format Numbers for Application]

Project Type	New Projects	Ongoing Projects		Project Completion
		Implementation	Payment Only	
Report Type	Project Proposal	Progress Report	Payment Report	Completion Report
Technical Promotion	I-1	II-1	II-7	III-1
F/S and Design	I-2	II-2		III-2
Construction	I-3	II-3		III-3
F/S & Construction	I-4	-		-
Revival	I-5	-	-	-
Kum-ban Devt.	I-6	II-6	II-7	III-6

2. Project Assessment and Evaluation Formats

Absolute assessment through Simplified Project Assessment Sheet (SPAS) formats, and evaluation through Simplified Project Evaluation Sheet (SPES) formats are conducted by MPI/DPI and sector planning departments. Details of assessment and evaluation are indicated in *Section IV*. The sheet varies depending on the project type and its status, and it synchronizes to the abovementioned application forms. There are 15 forms in total.

[SPAS & SPES Format Numbers for Assessment and Evaluation]

Project Type	New Projects	Ongoing Projects	Project Completion	Operation Post Eva.
		Implementation		
Format Type	SPAS		SPES	
Technical Promotion	I-1	II-1	III-1	IV
F/S and Design	I-2	II-2	III-2	
Construction	I-3	II-3	III-3	
F/S & Construction	I-4	-	-	
Revival	I-5	-	-	
Kum-ban Devt.	I-6	II-6	III-6	

As an extra feature, a blank sheet of a comparative assessment chart is attached.

Contents

1. Forms for Application of PIP Projects

- **Flowchart for Application Format Selection (New projects)**
 - I-1 Project Proposal for Technical Promotion
 - I-2 Project Proposal for F/S and Designing
 - I-3 Project Proposal for Construction
 - I-4 Project Proposal for F/S and Construction
 - I-5 Project Proposal for Revival Projects
 - I-6 Project Proposal for Kum-ban Development
- **Flowchart for Application Format Selection (Ongoing projects)**
 - II-1 Progress Report for Technical Promotion
 - II-2 Progress Report for F/S and Designing
 - II-3 Progress Report for Construction
 - II-6 Progress Report for Kum-ban Development
 - II-7 Project Payment Progress Report
 - III-1 Completion Report for Technical Promotion
 - III-2 Completion Report for F/S and Design
 - III-3 Completion Report for Construction
 - III-6 Completion Report for Kum-ban Development

2. Forms for Assessment and Evaluation of PIP Projects

- I-1 SPAS for NEW Technical Promotion
- I-2 SPAS for NEW Feasibility Study and Designing
- I-3 SPAS for NEW Construction
- I-4 SPAS for NEW F/S and Construction
- I-5 SPAS for Revival Projects
- I-6 SPAS for NEW Kum-ban Development
- II-1 SPAS for ONGOING Technical Promotion
- II-2 SPAS for ONGOING F/S and Designing
- II-3 SPAS for ONGOING Construction
- II-6 SPAS for ONGOING Kum-ban Development
- III-1 SPES for Technical Promotion
- III-2 SPES for F/S and Designing
- III-3 SPES for Construction
- III-6 SPES for Kum-ban Development
- IV SPES for ex-post evaluation

3. Comparative Assessment Chart



Lao People's Democratic Republic
Peace, Independence, Democracy, Unity, Prosperity

Manual
for
Public Investment Program (PIP)
Program Management
(Version 2.0)

August 2009

Ministry of Planning and Investment



Manual for PIP Program Management

Section I Definition and Management Flow of PIP as a Program

Contents

1	Definitions	2
1.1	Three Major Aspects of Development Target Achievement	2
1.2	Public Investment Program	3
1.3	Relations between NSEDP and PIP as a Program	4
2	PIP Program Unit	5
2.1	Variation of PIP Program Units	5
2.2	Concept of PIP Program Unit Management	6
2.3	Three Perspectives of PIP Program Unit Management	7

Manual for PIP Program Management

Section II Management Flow and Methods of PIP as a Program

Contents

1. Management Flow of PIP as a Program	2
2. Formulation of PIP as a Program	3
2.1. Analysis of SEDP	3
2.2. Formulation of PIP Program Units	6
(1) Identification of PIP Program Units.....	6
(2) Formulation of Program Objective Tree.....	7
(3) Formulation of Chronology Chart	10
2.3. Formulation of PIP Map	13
(1) Formulation of a PIP Map.....	14
(2) Conclusion and Outputs	15
(3) Using GIS.....	16
3. Monitoring PIP Program Units and PIP Maps	17
3.1. Monitoring PIP Program Units	17
(1) Project Objective Tree	17
(2) Chronology Chart	17
3.2. Monitoring PIP Map	19
3.3. Reflection of Monitoring Results to Individual PIP Projects	20
(1) Reflection to Absolute Assessment/Evaluation	20
(2) Reflection to Comparative Assessment	21
4. Evaluation of PIP Program Units	21
4.1. Achievements and Progress of PIP Program Unit Targets	22
4.2. Evaluation Through 5 Evaluation Criteria	22
(1) Relevance	22
(2) Effectiveness	23
(3) Efficiency	23
(4) Impact	23
(5) Sustainability.....	23
4.3. Conclusion and Recommendations	24
4.4. Reflection of Evaluation Results	24
(1) To Evaluation of SEDP	24
(2) To New SEDP Through Project Effects.....	24

ANNEX

Examples of PIP tools in Monitor Provinces of PCAP2 Project

ANNEX1. Summary Table of development Plan Analysis

- (1) Oudomxay Province
 - 1) 5 year Provincial Socio Economic Development Plan 2006-2010-
 - 2) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010-
- (2) Khammuane Province
 - 1) 5 year Provincial Socio Economic Development Plan (PSEDP) 2006-2010
 - 2) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010
- (3) Saravane Province
 - 1) 5 year Provincial Socio Economic Development Plan 2006-2010
 - 2) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010

ANNEX 2. Program Objective Tree

- (1) Oudomxay Province
 - 1) 5 year Provincial Socio Economic Development Plan 2006-2010
 - 2) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010
- (2) Khammuane Province
 - 1) 5 year Provincial Socio Economic Development Plan (PSEDP) 2006-2010
- (3) Saravane Province
 - 1) 5 year Provincial Socio Economic Development Plan 2006-2010
 - 2) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010

ANNEX 3. Chronology Chart

- (1) Oudomxay Province
 - 1) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010
- (2) Saravane Province
 - 1) 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010

ANNEX 4. Mapping

- (1) Oudomxay Province
 - 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010
- (2) Khammuane Province
 - 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010
- (3) Saravane Province
 - 5 year Public Works and Transportation Sector development Plan 2006-2010

Note: The PCAP study team could not obtain the theoretical document of 5 year Public Works and Transportation Sector Development Plan 2006-2010 in Khammuane Province, except project list. Therefore, this manual could not prepare Program Objective Tree and Chronology Chart of the plan in Khammuane province.